令和5年7月28日

令和5年 第3回

東大和市教育委員会臨時会会議録

東大和市教育委員会

令和5年第3回東大和市教育委員会臨時会会議録

1. 日 時 令和5年7月28日（金曜日）午前9時30分～午後2時57分

2. 場 所 東大和市役所会議棟第6・第7・第8会議室

3. 出席委員 1番 岡田博史（教育長）

2番 岩田圭子

3番 藤宮志津子

4番 内野裕子

5番 鈴木一徳

4. 欠席委員 なし

5. 説明職員

教育部長	小 俣 学	教育部参事兼 教育指導課長	小 野 隆 一
教育総務課長	斎 藤 謙二郎	学校施設更新 等担当課長	中 橋 健
新校開設 担当課長	大 野 祐 司	指導担当課長 （統括指導 主 事 ）	菅 野 恭 子
指導主事	橋 本 健	指導主事	廣 濱 陽一郎
中央図書館長	浴 靖 子		

6. 書 記

庶務係長	長 瀬 由美子	主 事	浅 井 亮 介
------	---------	-----	---------

○議事日程

- 第 1 会議録署名委員の指名
- 第 2 第 39 号議案 令和 6 年度使用東大和市立小学校教科書の採択について
- 第 3 第 40 号議案 令和 6 年度使用東大和市立小・中学校特別支援学級用教科書の採択について

◎開会の辞

○岡田教育長 皆さん、おはようございます。

では、ただいまから令和5年第3回東大和市教育委員会臨時会を開催いたします。

◎日程第1 会議録署名委員の指名

○岡田教育長 日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、鈴木委員をお願いいたします。

○鈴木委員 はい。

○岡田教育長 ここで傍聴の許可についてお諮りいたします。

本日の会議について、傍聴を許可することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 ご異議なしと認め、傍聴を許可いたします。お願いします。

◎日程第2 第39号議案 令和6年度使用東大和市立小学校教科書の採択について

◎日程第3 第40号議案 令和6年度使用東大和市立小・中学校特別支援学級用教科書の採択について

○岡田教育長 それでは、日程第2、第39号議案 令和6年度使用東大和市立小学校教科書の採択について、日程第3、第40号議案 令和6年度使用東大和市立小・中学校特別支援学級用教科書の採択について、以上の2件は関連がありますので、一括して議題に供します。

議案の説明をお願いいたします。

小野教育部参事。

○小野教育部参事兼教育指導課長 ただいま議題となりました第39号議案 令和6年度使用東大和市立小学校教科書の採択について及び第40号議案 令和6年度使用東大和市立小・中学校特別支援学級用教科書の採択について、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

本件は、令和6年度から使用する小学校教科書、小・中学校特別支援学級用教科書を決定していただくために、ご提案申し上げるものです。

これまで、東大和市立小・中学校使用教科書採択要綱及び東大和市立小・中学校教科書採択事務要領並びに東大和市立小・中学校特別支援学級用教科書採択事務要領に基づき、教科書採択資料作成会議及び教科書調査部会を設置し、小学校の校長、副校長、教員、保護者代表の方を委員、部員として、約3か月にわたり調査・研究をお願いしてきました。その結果、教科書採択資料作成会議から、令和5年7月14日付で調査・研究の報告がありました。

本日は、教科書採択資料作成会議からの調査・研究について教科書採択資料作成会議委員からご説明いただき、教育委員の皆さまからの質疑を経て、令和6年度から使用する教科書のご決定をお願いしたいと存じます。

なお、小学校教科書につきましては、令和6年度から4年間使用する教科書でございます。特別支援学級用の教科書につきましては、学校教育法附則第9条に規定されている教科書であります。

それでは、調査・研究の報告までの経過と採択に至る手順につきまして、ご説明いたします。

去る5月16日に、第1回教科書採択資料作成会議を開催し、教育長より令和6年度使用教科書に関わる調査・研究について依頼いたしました。

その後、教科書調査部会での調査・研究を経て、教科書採択資料作成会議の第2回を6月29日に、第3回を7月11日に行い、熱心に、かつ厳正にご協議をいただきました。そして、先ほどご説明いたしましたように、7月14日に教科書採択資料作成会議座長から教育長にご報告いただいたところであります。それがお手元の調査・研究報告書であります。

次に、本日の教育委員会における採択に至る手順につきまして、ご提案させていただきます。

まず、教科書採択資料作成会議座長及び調査部会長から、審議経過及び調査・研究報告の概要説明、種目ごとの資料の説明、市民からの意見の説明をいただきます。教育委員の方々には、説明に対するご質疑をお願いいたします。

なお、質疑が終わりましたところで、教科書採択に関わる教育委員会としての基本的な考え及び採択基準等について再度ご確認いただき、その後、種目ごとの審議を経て、種目ごとの採択をお願いいたします。

事務局といたしましては、このような手順を進めたいと考えております。よろしくお願いたします。

○岡田教育長 採択に至る手順については、ただいま事務局のほうから提案がありましたけれども、いかがでしょうか。よろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 では、採択に至る手順につきましては、事務局からの提案のとおりに進めていきたいと思ひます。

ここで、教科書採択資料作成会議の方々にお入りいただきたく思ひます。お願いたします。

(委員入室)

○岡田教育長 では、小野教育部参事、続けてお願いたします。

○小野教育部参事兼教育指導課長 続きまして、本日ご出席いただきました教科書採択資料作成会議座長及び同調査部会長を紹介いたします。

小学校教科書採択資料作成会議座長兼小学校体育保健教科書採択調査部会長、石田玲奈、第一小学校校長でございます。

○石田小学校教科書採択資料作成会議座長 はい。

○小野教育部参事兼教育指導課長 小学校国語教科書採択調査部会長、大桃昌博、第二小学校校長でございます。

○大桃国語調査部会長 はい。

○小野教育部参事兼教育指導課長 小学校社会教科書採択調査部会長、加藤進、第五小学校校長でございます。

○加藤社会調査部会長 はい。

○小野教育部参事兼教育指導課長 小学校算数教科書採択調査部会長、江原光紀、第三小学校校長でございます。

○江原算数調査部会長 はい。

○小野教育部参事兼教育指導課長 小学校理科教科書採択調査部会長、富川準子、第四小学校校長でございます。

○富川理科調査部会長 はい。

○小野教育部参事兼教育指導課長 小学校生活教科書採択調査部会長、澤崎彰一、第十小学校校長でございます。

○澤崎生活調査部会長 はい。

- 小野教育部参事兼教育指導課長 小学校音楽教科書採択調査部会長、藤井嘉也、第九小学校副校長でございます。
- 藤井音楽調査部会長 はい。
- 小野教育部参事兼教育指導課長 小学校図画工作教科書採択調査部会長、飯塚庫健、第六小学校校長でございます。
- 飯塚図画工作調査部会長 はい。
- 小野教育部参事兼教育指導課長 小学校家庭教科書採択調査部会長、山田尚人、第四小学校副校長でございます。
- 山田家庭調査部会長 はい。
- 小野教育部参事兼教育指導課長 小学校外国語教科書採択調査部会長、吉村浩、第七小学校校長でございます。
- 吉村外国語調査部会長 はい。
- 小野教育部参事兼教育指導課長 小学校道徳教科書採択調査部会長、吉行一敏、第八小学校校長でございます。
- 吉行道徳調査部会長 はい。
- 小野教育部参事兼教育指導課長 小・中学校特別支援学級用教科書採択資料作成会議副座長兼小・中学校特別支援学級用教科書採択調査部副会長、溝口佳江、第九小学校校長でございます。
- 溝口小・中学校特別支援学級用教科書採択調査部副会長 はい。
- 小野教育部参事兼教育指導課長 なお、全体に関わる報告につきましては、小学校教科書採択資料作成会議座長から報告させていただきます。
- 岡田教育長 ありがとうございます。
- では、全体に関わる報告をお願いいたします。
- 石田小学校教科書採択資料作成会議座長、お願いします。
- 石田小学校教科書採択資料作成会議座長 初めに、報告書提出までの経過につきましてご説明させていただきます。
- 去る5月16日に第1回教科書採択資料作成会議が開催され、その席上、令和6年度に使用する教科書に関わる調査・研究の依頼を受けました。その後、教科書調査部会を2回ほど開催し、調査・研究を行いました。
- 教科書調査部会で作成された資料を基に、教科書採択資料作成会議では、6月29日に第2回、7月11日に第3回を行い、教育委員会に提出する報告書を作成い

たしました。

去る7月14日に、小学校教科書採択資料作成会議座長が代表いたしまして、教育長にご報告をさせていただいたところであります。

次に、教科書の調査・研究に際しての基本方針と留意事項について説明します。

次の2つの観点で調査・研究を行ってまいりました。

第1に、学習指導要領に示された目標等を踏まえているかという観点です。

第2に、学力の向上を図ることや、地域の実態・学校の実情に即して、学習指導要領に示す目的や内容等を、市内に在籍する小・中学生が学習する上で効果的な教科書になり得ているかといった観点です。

また、小学校教科書の調査・研究につきましては、文部科学大臣の検定を経て、教科書目録に登載されている教科書であり、東京都教科用図書選定審議会の答申を尊重し、1、内容の選択、2、構成・分量、3、表記・表現及び使用上の便宜、4、その他、教科の特性に基づき、調査・研究を行ってまいりました。

今回の調査・研究における特徴的な点としましては、個別最適学びや協働的な学びを一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげることが挙げられます。

特別支援学級用教科書については、学校教育法附則第9条の定めによる教科書であります。今年度使用している教科書より明らかに優れたもの、また、児童・生徒の実態に即しているものなど、採択替えを行う必要がある教科書について調査・研究を行ってまいりました。

以上、公正で適正かつ円滑な採択が実施されますよう調査・研究を行いまして、報告をさせていただいた次第でございます。

○**岡田教育長** ありがとうございます。

ただいまの報告につきまして、教育委員の皆さまから質疑をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

鈴木委員、お願いします。

○**鈴木委員** 調査・研究報告書の作成、ご苦労さまでした。調査・研究に関して、全体的なことを座長にお尋ねしたいと思います。

今、お話があった個別最適な学びや協働的な学びを充実させることで、主体的・対話的で深い学びの実現につなぐということ、実際に授業を行う際に様々な工夫をされていることと思いますが、使用する教科書、教材や環境等でどのよ

うなことを重視しているのでしょうか。お願いいたします。

○岡田教育長 石田小学校教科書採択資料作成会議座長、お願いします。

○石田小学校教科書採択資料作成会議座長 個別最適な学びでは、指導の個性化として様々な児童の実態を踏まえ、特性や学習進度等に応じて指導方法や教科等を柔軟に設定することや、学習の個性化として、子どもの興味・関心等に応じ、一人ひとりに応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を設けることなどが大切であります。

また、協働的な学びでは、今申し上げた個別最適な学びが孤立した学びにならないようにするために、探究的な学習や体験活動等を通して子ども同士や多様な他者と協働しながら必要な資質・能力を育成することが大切になってきます。

これらのことから、児童が見通しを持って学ぶことができることや、対話の視点を理解して思いや考えを伝え合い、自分自身で考えたことなどを基に生活や生き方などにつなげられる学習が展開できる教科書や教材、環境等を重視しています。

以上です。

○岡田教育長 そのほかご質疑はいかがでしょうか。

岩田委員、お願いします。

○岩田委員 報告書の作成、どうもお疲れさまでした。

一つ教えていただきたいのですが、平成30年に第3期教育振興基本計画及び令和5年の次期教育振興基本計画の答申が示されたということで、平成29年に改訂された学習指導要領にも記載されている子どもたちが持続可能な社会の創り手となるというSDGsの考え方が近年注目されている中で、今回の教科書でも様々な教科でSDGsの視点が盛り込まれているということを感じました。内容や扱い方について、各種多少異なっておりますが、学校での取り組みやすさなどについてはどのようにお考えかお聞かせください。お願いいたします。

○岡田教育長 石田小学校教科書採択資料作成会議座長、お願いします。

○石田小学校教科書採択資料作成会議座長 学習指導要領の総則では、「豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となることが期待される児童・生徒に、生きる力を育むことを目指すに当たっては、学校教育全体並びに各教科等の指導を通して、どのような資質・能力の育成を目指すのかを明確にしながら、教育活動の充実を図るものとする」とあります。このことから、これからの子どもたちに

とって必要な考え方であり、授業を展開する際も、各学校において、児童だけでなく保護者や地域、環境なども踏まえた上での授業の工夫が求められていると感じております。

様々な教科書等にあるSDGsの視点は、授業展開をする上では参考となりますが、まずは各教科等での学びを確実にすることから、SDGsの扱いの差について、学校での取り組みやすさに大きな影響はないものと考えております。以上でございます。

○岡田教育長 そのほかいかがでしょうか。

内野委員、お願いします。

○内野委員 東大和市におきましては、令和3年度に1人1台端末が配付されました。授業の中で活用しながら学びを深めている様子を私も学校訪問等で参観させていただきました。

今回の教科書では、多くのQRコードが掲載されています。内容も教科ごとに多岐にわたりますけれども、児童は使いこなすことができるでしょうか。

○岡田教育長 石田小学校教科書採択資料作成会議座長、お願いします。

○石田小学校教科書採択資料作成会議座長 本市の児童の実態であります。令和3年度に端末が導入され3年がたち、端末が特別な物ではなく、文房具として活用できる状況が広がってきています。各学年に応じた使用方法ではありますが、1年生から6年生までの児童が抵抗なく使用しています。

特にカメラ機能を使ったQRコードから参照できる資料については、動画や音声などで学習内容や資料等が紹介されているため、復習をはじめ、不登校の児童、日本語指導が必要な児童など、個々の状況に応じたきめ細かい指導、学習を行う上でも効果的であります。

このようなことから、教師が児童の実態に応じてQRコードを活用した学びを展開することが考えられます。

以上でございます。

○岡田教育長 ありがとうございます。

そのほかご質疑はいかがでしょうか。全体についてはよろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 それでは次に、小学校各教科の調査・研究報告書の説明、また質疑のほうに入りたいと思います。

初めに、国語の調査部会長からご説明をお願いいたします。

大桃国語調査部会長。

○大桃国語調査部会長 それでは、国語調査部より国語及び書写についてご説明をいたします。

初めに、国語の教科書の全体的な傾向をお伝えいたします。

各社SDGs関連の学習内容が各学年で学べるようになっております。また、カリキュラム・マネジメントに資するような他教科等への合科的、横断的な指導となるような工夫が見られます。

構成としましては、各社で名称は異なりますが、学習活動、学習過程の段階を単元内に明示されており、単元冒頭では、学習への見通しが持てるようになっております。

表記としては、特別支援教育の視点からユニバーサルデザインフォントを使用したり、どのような色覚特性の子どもでもグラフを判別しやすくするなどの配慮がなされています。また、各社QRコードを多用し、児童の探究を促したり、理解を深めたりするような工夫がされております。

それでは、続いて各社の説明をさせていただきます。

まずは、東京書籍です。単元ごとに既習事項を生かした発展のページがあり、主体的な学びを促す内容となっております。また、巻末に「言葉の力のつながり」が掲載され、第3学年以上では、前学年との系統性を一覧で見られます。また、目次の後には「言葉の力を集めよう」のページを設けており、1年を通じて「読む」「話す・聞く」「書く」で、どのような言葉の力をつけるかを明確に示しております。1年生にとっては習得が難しい特殊音節（促音、長音、拗音）や助詞の学習で確実に習得させるために、特別支援教育で生かされている「多層指導モデルMIM」の指導法が取り入れられております。

続いて、教育出版です。「話す・聞く」の単元において、役割や話合いの進め方が実際の会話文形式で掲載されており、どのように学習を進めるか、分かりやすい内容となっております。各教材の後ろのページに学習の手引きがあり、「言葉」で特に着目させたい叙述を取り上げ、「ここが大事」のコーナーでは、教材の中で特にどのような部分にウエイトを置いて考えさせたり話し合わせたりすればよいか分かりやすく示されております。物語の1ページ目に、教材の内容に関わる導入の問いかけ文が記載されており、児童が物語の世界に没入しやすいよ

うな工夫がなされております。

続いて、光村図書出版です。目次と本編の間に「国語の学びを見わたそう」という内容が示されております。これにより、現学年の学習の進め方と前学年までの既習内容が並列で書かれていることから、今までの振り返りをしながら今後の学習に系統性を持って学習を積み重ねていくことができるようになっております。單元ごとに、「問いをもとう」「目標」「ふりかえろう」が示されております。

「問いをもとう」では、どんなことを考えていきたいか自分に「問い」を持たせ、この単元で身につけたい「目標」につなげております。また、単元の終わりには、「ふりかえろう」の自己評価欄があり、「知る」「読む」「つなぐ」の3点から振り返らすことができるようになっております。また、当該学年の教科書には、「○年生で学んだこと」「◇学年で学んだこと」と記され、系統的な指導に生かすことができるようになっております。

続いて、書写における全体的な傾向をお伝え申し上げます。

書写の学習で学んだことを日常生活や他教科で活用するなど、カリキュラム・マネジメントを意識した内容になっております。

また、中身も写真やイラストが多く、児童の興味・関心を喚起する工夫がされております。各社見開きのページで学習内容が分かるような構成になっております。

また、書写の作品以外の叙述部分では、ユニバーサルデザインフォントを使用し、特別支援が必要な児童にとって理解しやすい表記となっております。

続きまして、各社の特徴を申し上げます。

まず、東京書籍です。どの学年の教科書においても、初めに「足 ぺた ぴんとん さあ 書こう」という合い言葉が共通して記載されており、一貫した学習の基本の指導ができるようになっております。毎時間の学習に「書写のかぎ」を表記されており、当該学習時間の学習ポイントを簡潔に示され、意識化して学習に取り組むことができるようになっております。

続きまして、教育出版です。「点画の筆使い」「文字の組み立て方」「文字の大きさ、配列」「点画のつながり」などが具体的に書かれており、系統的に学ぶことができるようになっております。また、右ページに教材文字、左ページに「めあて」「考えよう」「ここが大切」などのポイントが分かれて書かれ、分かりやすい紙面構成になっております。

続いて、光村図書出版です。書くポイントのイメージを持ちやすいように、声に出して読むポイントが書かれており、「止め」「はね」「はらい」などをキャラクターの絵で表現したりしており、視覚的に捉えやすいような工夫がされています。また、毎時間の「学習の進め方」が明記されています。「考えよう」「確かめよう」「生かそう」といった構成になっており、導入の「考えよう」で児童自身が意識化した点を学習に取り組みさせる構成となっております。

以上、報告となります。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ただいまの説明につきまして質疑をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

藤宮委員、お願いします。

○藤宮委員 東大和市のGIGAスクール構想3年目を迎えて、ふだんの授業の中でも一人ひとりが端末を活用しながら授業を行う姿が定着しつつありまして、本当に素晴らしいと思いますが、国語の教科書では、学びを深めるための効果的な活用方法としてどのような工夫がなされているのでしょうか。

○岡田教育長 大桃国語調査部会長、お願いします。

○大桃国語調査部会長 学びを深めるための1人1台端末の活用についてですが、教科書にQRコードが記載されており、内容も工夫されています。例えば「話すこと・聞くこと」では、スピーチや話し合い、インタビューなどの活動の実写動画があり、話す速さの間の取り方が学べます。「書くこと」では、題材への興味・関心を高める動画や、書くことの参考となるものがあります。「読むこと」では、作者、筆者の声が聞けるなど、児童の興味を引くコンテンツがあります。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

そのほかご質疑いかがでしょうか。

鈴木委員、お願いします。

○鈴木委員 国語の授業は授業数も多く、得意、不得意の差が開きやすい教科でもあります。児童一人ひとりが興味・関心を持って学びを深められるように、個別最適な学びと協働的な学びを充実するためにどのような工夫がされているのでしょうか。お願いします。

○岡田教育長 大桃国語調査部会長、お願いします。

○大桃国語調査部会長 個別最適な学びとしましては、一人ひとりの興味に沿って学びが進められるよう選択課題を設けたり、考えるための観点を複数示したりするなどの工夫が見られます。また、読み深めたことを基に、別の観点を選んだ児童と考えを交流する活動を設定するなどして、多様な立場で学び合い、協働的な学びにつなげております。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

そのほかご質疑いかがでしょうか。

岩田委員、お願いします。

○岩田委員 現在、子どもたちの周りには様々な情報があふれて、膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択して得ることや、自分の発信したいことを表現する力が求められていると思います。学習指導要領で定められた情報の扱いに関する事項について、それらがどのように反映されていますでしょうか。お願いいたします。

○岡田教育長 大桃国語調査部会長。

○大桃国語調査部会長 今般、情報の扱い方に関するスキルを使えるようにすることが重要であります。情報教材については、年間で複数回取り上げる出版社や、コーナーを新設して取り組ませる出版社も見られ、単に方法を学ぶものではなく、言語活動において子どもが目的や必要性を感じられる課題として設定され、生きた力として身につくよう工夫されております。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

そのほかご質疑いかがですか。

内野委員、お願いします。

○内野委員 本市の子どもたちの実態として、読書離れが懸念されると思いますが、そのことに対処するための工夫というのがありましたら教えてください。

○岡田教育長 大桃国語調査部会長。

○大桃国語調査部会長 読書、図書のすすめということで、6年間での紹介数は現行のものよりかなり増えまして、各社500冊台となっております。それも多様な分野から取り上げております。また、国語の読書や読解につながるためにも、言

葉、語彙を知ること、増やすことが大切になります。そのようなことを意識し、各社言葉のコーナーを設定しております。また、国語の興味・関心を持たせるための教材を各社で精選しております。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

そのほかにご質疑いかがでしょうか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、書写のほうについて、ご質問がありましたらお願いしたいと思います。

岩田委員、お願いします。

○岩田委員 3年生から毛筆の授業が始まるということですが、ふだん毛筆を使い慣れていない子どもたちに対する初期段階の学習ではどのような工夫がありますでしょうか。

○岡田教育長 大桃国語調査部会長。

○大桃国語調査部会長 毛筆学習における分かりやすさについてであります。どの教科書も朱墨による凡例を示しており、朱色の濃さの違いから力の入れ方や筆運びの速さを一見して分かるように写真に表しております。それに加え、始筆、送筆、収筆の箇所におノマトペで感覚的に筆圧を変えられるような工夫がされております。また、QRコードから視覚的に筆や手の動きを動画で分かりやすく示しております。

以上です。

○岡田教育長 そのほかいかがでしょうか。

鈴木委員、お願いします。

○鈴木委員 学習指導において低学年で求められる適切に運筆する能力の向上については、教科書にはどのように反映されているのでしょうか。お願いします。

○岡田教育長 大桃国語調査部会長、お願いします。

○大桃国語調査部会長 どの出版社も水書き用紙を準備されており、その活用によって運筆や筆圧の感覚を養い、鉛筆と交互に活用していくことで、適切に運筆する能力が高められるような工夫があります。

以上です。

○岡田教育長 ほかにはいかがでしょうか。国語、書写、よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、次の社会及び地図のほうに入ります。

社会の調査部会長からご説明をいただきたいと思います。お願いします。

加藤社会調査部会長。

○加藤社会調査部会長 社会科用の教科書には、東京書籍、教育出版、日本文教出版の3社があります。どの教科書にも共通していることは、以下の点になります。

まず、内容の選択については2点です。

1点目は、社会的事象に関する資料が豊富に記載されています。特に身近な社会問題が取り上げられているので、児童が学んだことを自分のこととして捉えやすくなっています。

2点目は、コラムやトピックなどが多く掲載され、学習を進めるためのヒントが数多く示されています。

次に、構成・分量についてです。同じく2点になります。

1点目は、課題解決型の学習を進めるための流れが分かりやすい構成となっています。

2点目は、各単元の分量に偏りがなく、学年に応じた分量となっています。

表記・表現及び使用上の便宜についても同じく2点です。

1点目は、イラストや写真がとても充実しており、興味や関心を持って学習を進められるように工夫されています。

2点目は、QRコードが多数設けられており、QRコードを読み取ることで学習に必要な多くの情報を得ることができます。

次に、それぞれの教科書の特徴です。

東京書籍は、各単元に「ひろげる」「まなび方コーナー」「まなびのポイント」など、学習を進める上でのヒントやポイントが数多く掲載されています。分冊になっているので、持ち運びが良く、とても扱いやすくなっています。

教育出版は、文章量が他の教科書に比べて多めとなっていますが、文章の説明がとても分かりやすくなっています。「学びのてびき」に学習の進め方が詳しく記述されています。

日本文教出版は、コロナウイルスやSDGsなど現在の社会問題に関する資料が豊富で、身近な問題として捉えやすくなっています。各ページの下に「身につけてほしい力」が示されています。

次に、地図帳です。

地図帳には、東京書籍と帝国書院の2社があります。

双方の地図帳に共通していることは、まず内容の選択については、「地図マスターへの道」や「ホップ、ステップ、マップでジャンプ」といったコラムが豊富に入っているので、地図帳を使って調べようという児童の意欲や関心を引き出す工夫がされています。

構成・分量につきましては、地図の決まりや約束事についての資料が多く、分かりやすく説明されています。また、QRコードにより動画や資料を見ることができるので、より知識を深められます。

表記・表現及び使用上の便宜につきましては、色の濃淡や発色も良く、とても見やすくなっています。また、社会や歴史資料も随所に入っていて、楽しめる内容になっています。

それぞれの地図帳についてです。

東京書籍は、地図の決まりについての資料も多く、漫画仕立てで親しみやすくなっています。地図学習ではクイズ形式の問題があり、段階的に学ぶことができるようになっています。

帝国書院は、情報が多過ぎず、精査されています。地図マスターなどにより地図の使い方が分かりやすく説明されています。

以上のように、どの教科書と地図帳も課題解決型学習やパソコン端末を活用した授業を進める上でとても工夫されています。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ただいまの説明につきまして、質疑をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

鈴木委員、お願いします。

○鈴木委員 社会科の学習では、問題解決能力を育てる学習が重要になってきています。教科書においてどのような工夫がされているのでしょうか。お願いします。

○岡田教育長 加藤社会調査部会長、お願いします。

○加藤社会調査部会長 各教科書における問題解決能力を育てる学習の工夫としましては、教科書ごとに言葉は違いますが、「つかむ」「調べる」「まとめる」「生かす」、あるいは「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」、あるいは

は「見る・調べる」「読み取る」「表現する」などの学習の流れが分かりやすく記載されています。つかむ段階では、学習問題を考えるためのヒントが示され、調べる段階では、調べ方のヒントが丁寧に示されています。まとめる段階では、まとめる際の留意点やまとめ方が丁寧に示されています。そして、学習してきたことが次の単元につながる配慮がされているため、問題解決的な学習が進めやすくなっています。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

そのほかいかがでしょうか。

藤宮委員、お願いします。

○藤宮委員 社会の学習においては、考える社会科学習を充実していく上で、社会的事象に関心を高めることが大切だと思いますが、そのためにどのような工夫や配慮がされていますか。

○岡田教育長 加藤社会調査部会長。

○加藤社会調査部会長 どの教科書におきましても、写真やイラスト、身近な方へのインタビューなど数多くの資料が掲載されています。特に身近な問題としましては、新型コロナウイルス感染症やSDGsなども取り上げられており、自分事として捉えやすくなっています。また、今日的な防災の視点を盛り込んだ内容も豊富に取り上げられています。さらに、ほぼ全てのページにQRコードがあり、関連する資料や動画が見られるようになっていることから、関心を高められる工夫がされています。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

そのほかいかがですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 私のほうから質問させていただきます。あしたも南街まつりということで、お祭りが予定されています。地域には歴史もあり、祭りなど伝統的な行事もたくさんあるところで、東大和市内でもこれからお祭りもたくさん催されるのではないかと思います。そのような中で、子どもたちにも伝統的な祭りや行事に興味や関心を持ってもらいたいと願うところですが、そういう興味や関心を引き出したり、または伝統的な祭りや行事を大切にしようという心を育てたり、そ

のようなことを工夫しているところはございますでしょうか。

加藤社会調査部会長、お願いします。

○加藤社会調査部会長 どの教科書も、我が国の伝統や文化、あるいはそれらを継承する人々について多くの事例を紹介して、日本の伝統や文化に対する理解を深めたり、愛情や誇りを持てるように工夫されています。そこから身近な地域の伝統や歴史に発展するような構成になっています。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかにはいかがですか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、地図のほうについて、ご質問がありましたらお願いしたいと思います。

内野委員、お願いします。

○内野委員 地図帳を初めて使い始める児童にとっては、新しい資料となります。児童が親しみを持って自ら進んで地図帳を使って何か調べてみたいと思えるような意欲を持たせるための工夫がありましたら教えてください。

○岡田教育長 加藤社会調査部会長。

○加藤社会調査部会長 児童が進んで地図帳を使って調べてみようという意欲を持たせる工夫になりますけれども、地図の扱いとしましては、同じ場所を真上から見た地図、あるいは俯瞰図、あるいは写真といった様々な視点から示すような工夫がされています。

また、各ページにはイラストも多く掲載されたり、ゲーム感覚で地図を活用したりできるような工夫もされています。

また、QRコードも数多くあり、1人1台端末を活用することで、より多くの資料や動画を見ることができるようになっています。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

そのほかいかがですか。

鈴木委員、お願いします。

○鈴木委員 地図帳の使用は第3学年から示されていますが、教科書との関連はどのようになっているのでしょうか。

○岡田教育長 加藤社会調査部会長。

○加藤社会調査部会長 まず教科書では、3年生段階で身近な地域を中心に学習をします。4年生では、身近な地域から東京都や隣接する県までに学習の範囲が広がっていきます。5年生では、日本の国土について学習した後に、農業、工業、水産業などの学習をし、6年生では、政治や歴史、世界の中の日本についての学習を行います。地図帳の中からどの学年の学習でも活用できる構成となっています。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

そのほかご質疑いかがでしょうか。よろしいですか。社会と地図、大丈夫でしょうか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、次の算数のほうに入ります。

算数の調査部会長から説明をいただきます。お願いします。

江原算数調査部会長、お願いします。

○江原算数調査部会長 それでは、各会社の教科書について、共通して優れている点を3つ説明いたします。

1点目は、主体的・対話的で深い学びのある授業の実現のために、児童が数学的な見方、考え方を働かせて、主体的に課題に取り組めるような内容になっています。

2点目は、個別最適化された学びの実現のために、学習に役立つデジタルコンテンツの充実を図り、基礎・基本の定着から応用まで幅広くカバーできる内容になっています。

3点目は、イラストや写真、文字の大きさ、吹き出しなど表現の仕方を工夫して、児童が意欲的に学習に取り組めるような内容になっています。

それでは、各教科書の特徴について説明をいたします。算数は6つの教科書の説明をいたします。

1点目は、東京書籍です。1単元時間ごとに学習に活用できるQRコードが豊富であり、1人1台端末を活用し、個々の能力に応じた学びが充実できるような内容になっています。また、1年生の4、5月に使う教科書は、ワーク形式でA4サイズとなっており、入学当初の1年生の発達段階に配慮がなされています。

2点目は、大日本図書です。どの学年でも1単元時間の流れが明確であり、新たな問題から課題設定し、まとめ、練習問題という筋道で構成されています。また、個々の考えを比較検討している様子の写真掲載があり、協働的な学びの授業イメージが持ちやすい内容になっています。

3点目は、学校図書です。どの学年でも問題を考える際のヒントとなる「考え方モンスター」を使って、自身で学習問題にチャレンジできる内容になっています。また、基礎・基本の定着から応用までの適用問題が厳選されている内容になっています。

4点目は、教育出版です。前学年や他教科で学んだことと関連させて単元設定するなど、児童の興味・関心を引き出す内容になっています。また、単元配列に工夫があり、3年生の割り算の単元では、1つ分の数を求める割り算よりいくつ分の数を求める割り算を先に配列する内容になっています。

5点目は、新興出版社啓林館です。全ての単元において、課題発見の場面や本時のめあてが明示されていて、児童が主体的に考えられるような内容になっています。また、3年生の内容で小数より分数を先に扱っており、1の何等分かを意識させてから小数の単元につなげられるような内容になっています。

6点目は、日本文教出版です。練習問題やQRコードを用いての追加問題があり、基礎・基本の定着に向けた習熟練習に工夫が見られる内容になっています。また、単元導入時に「どんな問題かな？」という問題の意味をつかむページがあり、学習する内容が児童に把握しやすい内容になっています。

以上でございます。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ただいまの説明につきまして、質疑をお願いしたいと思います。

藤宮委員、お願いします。

○藤宮委員 算数では、特に各学年の学習の積み重ねが大切であると考えますが、基礎的、基本的な知識・技能の習得を図るためにどのように工夫していますか。

○岡田教育長 江原算数調査部会長、お願いします。

○江原算数調査部会長 基礎・基本の習得については、練習問題や復習問題を適切に用意したり、コンパスや三角定規等を使った作図や分度器の正しい使い方を写真やイラストで分かりやすく見せたり、QRコードを活用して個々の能力に応じた問題を提供したりするなどの工夫を図っています。

○岡田教育長 ほかにはいかがでしょうか。

内野委員、お願いします。

○内野委員 ただいまQRコードのお話が出ましたけれども、1人1台端末の効果的な活用法として算数ではどのような工夫がなされているか具体的に教えてください。

○岡田教育長 江原算数調査部会長、お願いします。

○江原算数調査部会長 QRコードの活用については、まずQRコードを読み取ることで問題の解説動画を見たり、考えを整理するための操作体験ができたりします。また、習熟を図るための追加問題を出したりするなど、個々の能力に応じて主体的に学べるような工夫がされています。

○岡田教育長 ありがとうございます。

そのほか質疑いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、私のほうから、算数は比較的知識や技能というところが注目というか、中心となっていたところもこれまでの中にはあったと思いますが、当然今は思考、判断、表現というような力の育成がとても大事で、東大和市の子どもたちにもぜひそういうところの力を伸ばしてあげたいと思っています。そのあたりの工夫がどのようにされているか教えてくださいませんか。

江原算数調査部会長、お願いします。

○江原算数調査部会長 教科書ごとに工夫はありますが、単元の配列を工夫したり、図やイラスト等で思考の流れを整理したり、QRコードを用意して動画を見て思考させたりするなど、個々の考えがまとまり、分かりやすく表現できるような工夫がどの教科書もされています。具体的には、割り算では1つ分の数を求める割り算よりいくつ分の数を求める割り算を先に配列する教科書があったり、小数より分数を先に配列する教科書があったりするなどの工夫が見られます。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかには質疑いかがですか。算数よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、次の理科のほうに入ります。

理科の調査部会長から説明をお願いいたします。

富川理科調査部会長。

○富川理科調査部会長 理科の教科書5社の全体的な傾向を申し上げます。

3点申し上げます。

1点目、理科の学び方に関する提示があり、理科の見方や変え方、思考の流れを意識して問題解決学習が進められるように工夫されています。

2点目、QRコードが充実していて、実験器具の使い方や問題等、オンライン学習や家庭学習でも活用できるようになっています。

3点目、写真や図が大きく掲載され、興味・関心を高めるものとなっています。次に、各教科書の特徴を申し上げます。

初めに、東京書籍です。実験のやり方についてのQRコードがあり、実験方法の確認や復習に活用できます。予想の場面で様々な考えが提示されており、多面的な考え方を学ぶことができます。A4サイズの大判で、大変見やすいものとなっています。

次に、大日本図書です。単元導入時に、プロローグとなる問題が提起されており、学習を把握しやすい構成となっています。基礎・基本の定着のための単元末の「たしかめ」の問題数がちょうど良い量です。また、学んだことを生かすコーナーもあります。サイズがA4判の大判で、大変見やすいものとなっています。

次に、学校図書です。考察、伝え合い、話し合いの場面など、多様な学び方を紹介し、児童が主体的に活動できるように配慮されています。巻末の「科学の芽をそだてよう」では、理科モンスターのキャラクターがツールとなり、理科の見方や考え方を活用するための工夫がされています。また、裏表紙にSDGsとの関連が書かれています。

次に、教育出版です。話し合いの話型があり、他教科との関連づけがされ、協働学習で活用できます。各学年のコラムには、最先端の科学技術が取り上げられており、興味・関心を高める工夫が見られます。教科書に書き込むことのできる「確かめよう」の出題数が多く、基礎・基本の定着に有効です。

最後に、新興出版社啓林館です。理科を学ぶ意義や有用性が分かるように、日常生活や社会に関連した話題が掲載されています。単元末の「まとめノート」という手書き風のページは、児童が学習をまとめる際の手本になります。教科書の大きさがコンパクトで、軽量化されていることも特徴です。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

信濃教育会出版部は、見本本の一覧に含まれておりますけれども、長野県で使用する教科書であるためにこの見本本が送付されておられませんので、調査・研究を行っておりません。

それでは、今の説明に対しての質疑をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

岩田委員、お願いします。

○**岩田委員** 理科の学習において、見方や考え方を育て、働かせて、それらを深い学びにつなげていくためにどのような工夫がされていますでしょうか。お願いいたします。

○**岡田教育長** 富川理科調査部会長。

○**富川理科調査部会長** どの教科書においても、自然現象への気づき、問題、予想と計画、実験、結果、考察しよう、まとめという流れになっています。問題解決を重視した学び方が身につくようになっています。

また、学習の中で身につけさせたい資質・能力が子どもに分かりやすいマークやキャラクターなどで示されているため、学習を進める中で理科の見方や考え方を育て、働かせていけるような工夫がされています。

○**岡田教育長** ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。

内野委員、お願いします。

○**内野委員** 理科では、様々な自然現象や実験なども扱っていくと思います。QRコードから使用できる学習コンテンツは、どのような形で学習で活用できるか教えていただけますでしょうか。

○**岡田教育長** 富川理科調査部会長。

○**富川理科調査部会長** 理科におきましてもQRコードが多く使用され、内容が大変充実しています。実験の動画や資料、器具の扱い方、デジタル問題、話合いの例、理科ノートなどを見ることができます。また、児童が欠席をしたときやオンライン学習になったときなどに、これらを活用して学習を進めることも工夫であると考えます。

○**岡田教育長** ありがとうございます。

ほかにはご質疑いかがですか。

藤宮委員、お願いします。

○藤宮委員 今のお話の中でも実験について話題になりましたが、事故防止や安全面への配慮はどのようになされていますか。

○岡田教育長 富川理科調査部会長、お願いします。

○富川理科調査部会長 事故防止や安全面への配慮につきましては、実験器具の安全な取扱いに関する説明ページに作業が細分化され提示され、ポイントが分かりやすく、安全に気をつけて進めることができるように配慮されています。また、動画で実験に関する説明を扱っている点も配慮としての工夫だと考えます。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかにはいかがですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 私からでもよろしいですか。東大和市には、皆さんご存じのとおり、狭山丘陵など豊かな自然がたくさんあります。また、プラネタリウム等の施設もたくさんあるところですよ。そういう環境は子どもたちにとっても非常に大事なものであると日頃から思っていて、それらの環境を生かせるような学びについては、教科書と関連させていく必要があると思っています。東大和市の環境と関連させながら学んでいく工夫についてはいかがでしょうか。

富川理科調査部会長、お願いします。

○富川理科調査部会長 教科書では、各学年ごとや季節ごとに身近な自然について観察する学習が設定されています。植物、昆虫などの生き物について学ぶことから、本市では狭山緑地が近く、緑地の植物や生き物、地域の川などを観察することで、身近な自然について学習を深めることができます。

また、4年生では、月や星の動きを学習します。教科書には夜空を写した写真がありますが、導入段階において、教科書で学習した後、郷土資料博物館のプラネタリウムを活用し、夜空の星の様子や季節による見え方の違いなどを学ぶことで、児童の理解をより深めることができると考えます。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかにはいかがですか。よろしいですか。

鈴木委員、お願いします。

○鈴木委員 今、持続可能な開発のための教育が求められています。理科においては、SDGsについてどのように扱われているのでしょうか。

○岡田教育長 富川理科調査部会長、お願いします。

○富川理科調査部会長 各社とも関連ある単元や裏表紙等で、持続可能な社会づくりに関連する記事を掲載しています。特に6年生の単元「環境と私たちの暮らし」や「人と環境」で重点的に扱われています。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。理科はよろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、今1時間ぐらい経過したところですので、休憩を挟みたいと思います。今10時34分になるところですが、10分間休憩にさせていただき、10時44分再開ということによろしいでしょうか。すみません、皆さん、ご協力をいただければと思います。

では、休憩に入ります。

午前10時34分休憩

午前10時44分再開

○岡田教育長 それでは、休憩前に引き続きまして、議事を再開したいと思います。

では、次の生活に入ります。

調査部会長から説明をいただきます。

澤崎生活調査部会長。

○澤崎生活調査部会長 生活科の調査・研究結果をご報告いたします。

生活科の教科書は6社でした。

まず初めに、全体的な傾向についてお話しします。

1点目は、低学年の教科書ということで、写真やイラストが多く使われているなど、児童の興味・関心を引く工夫がされています。

2点目は、1年生から2年生への段階的な内容を分かりやすく扱っています。

3点目は、複数のページにQRコードが示されており、資料や学習関連動画を1人1台端末で見ることができるようになっています。

次に、各社ごとの特徴をお話しします。

東京書籍は、観察の仕方・計画書の書き方などが見開きの1ページに大きく書かれています。町探検の計画の際、気をつける約束や探検の視点が明示されており、教科書を参考にしながら学習が進められます。学習活動の写真や振り返りカードなどの情報が豊富に掲載されています。

大日本図書は、学習したことのまとめ方や発表方法が豊富に示されていて、学習のイメージを持たせやすいです。「きもちマーク」というものがあり、児童が学習して感じたことを担任が確認したり、自分の記録として残したりすることができます。自分自身への振り返りや地域とのつながりに意識が向くような工夫もされています。

学校図書は、「まなびかたずかん」や「ものしりノート」に取り上げられている内容が児童の興味を引き出しやすく、知識を広げることにつながっています。目次の部分に、学習を行う時期の目安が表示されており、学習への見通しが立てやすいです。1年生から2年生への段階的な内容を分かりやすく扱っており、「せいかつ まなびかたずかん」は巻末にまとまっていて分かりやすいです。

教育出版は、身の回りの写真を掲載し、生活の場面をイメージしやすくなっているなど、児童の興味・関心を喚起する工夫がされています。学習で特に発揮すると効果的な力を「さいころ」に示し、学習のめあてをつかむことができるようにしています。「わくわくスイッチ」により、単元に対する自分の現在地が分かるため、個別最適な学びをすることもできます。

光村図書出版は、各ページに言葉つきのイラストが示されていて、児童が興味を持つ工夫がされています。児童に親しみが持てるような挿絵が使われています。切り取り式の図鑑や別冊の「ひろがるせいかつじてん」というものがついており、体験学習や校外学習を進める上でのポイントが分かりやすくまとめられています。

新興出版社啓林館は、単元の最後に「できるかな できたかな？」の項目があり、振り返って自分自身を見詰めることができます。「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」と分かれていて、毎回同じ流れで単元が進んでいます。学びの順序が分かりやすく、適切に情報収集することができる分量となっています。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ただいま説明のほうございましたけれども、この生活におきましても、信濃教育会出版部、こちらのほうは長野県で使用する教科書ということで、見本本一覧には含まれておりますけれども、見本本の送付がされておられません、調査・研究を行っておりませんということでございます。

それでは、質疑のほうをお願いしたいと思います。

内野委員、お願いします。

○内野委員 生活科は、低学年の教科書という点から、見やすさや扱いやすさ、また、児童の興味や関心を引くためにどのような工夫がなされているか具体的に教えていただけますでしょうか。

○岡田教育長 澤崎生活調査部会長、お願いします。

○澤崎生活調査部会長 見やすい工夫としては、全体的に写真が大きく、鮮明に掲載されていることが挙げられます。写真についてもカラフルな写真となっており、児童の興味を引く内容となっていたり、写真やイラストと対応した文章表現が多く用いられたり、児童が親しみやすい形式となっており、中には吹き出しのようになっているものもあります。また、見開きごとに1単位時間の学習内容になっているものも多くあります。さらに、学習したことのまとめ方や発表方法が豊富に示されていて、学習のイメージを持たせやすくなっているもの、「学び方名人話し合い名人」などのページがあるものもあるため、児童が学習活動をイメージして進められる工夫がされています。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

そのほかご質疑いかがですか。

藤宮委員、お願いします。

○藤宮委員 幼児期の教育とのつながりはどのようになっていますか。

○岡田教育長 澤崎生活調査部会長、お願いします。

○澤崎生活調査部会長 幼児期と教育とのつながりについて、小学校入学直後の学習内容は、幼児期における遊びを通して総合的な学びへとつながるように意識したものとなっています。幼児期に体験してきた遊びの要素と、これからの小学校での教科学習の要素の両立を組み合わせた学習プログラムになっています。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。

鈴木委員、お願いします。

○鈴木委員 低学年にも1人1台端末が貸与されています。生活科において、活用についてはどのようになっているのでしょうか。

○岡田教育長 澤崎生活調査部会長、お願いします。

○澤崎生活調査部会長 低学年の児童の実態として、端末のカメラ機能を活用する

ことは安易にできることであるため、観察記録や見つけたものなどを写真として記録することや、QRコードを活用した学びも取り入れています。今回の教科書においても、QRコードから学習に関係する写真や動画などが見られるようになっています。例えば身の回りにいる生き物の鳴き声を実際の音で聞くことができるものもあり、児童が興味・関心を高める工夫となっています。

以上です。

○岡田教育長 ほかにはいかがでしょうか。

岩田委員、お願いします。

○岩田委員 身近な社会や自然との関わりから、日常生活をする上で必要な習慣や技能を身につけていくと思うんですけども、身近な生活に関わる見方、考え方を育てるために、具体的な活動や体験はどのように扱われていますでしょうか。お願いいたします。

○岡田教育長 澤崎生活調査部会長。

○澤崎生活調査部会長 具体的な活動や体験についてであります。身の回りにある花、野菜、樹木など身近な生活にあるような写真や絵を掲載し、児童の生活環境に目を向けさせようとしています。町探検の計画の際の約束や探検の視点も表示されており、教科書を参考にしながら学習が進められるようになっているものもあります。また、地域とのつながりに意識が向くような工夫がされているものもあります。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかにご質疑いかがでしょうか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、続きまして音楽に入ります。

音楽の調査部会長から説明をいただきます。

藤井音楽調査部会長。

○藤井音楽調査部会長 調査・研究結果を報告いたします。

まず初めに、全体的な傾向ですが、両社ともに共通する優れた点が3つ挙げられます。

第1に、多様な学習、多様な文化、多様な楽曲が掲載され、児童の興味・関心を高めることができます。

第2に、複数学年を見通して、効果的に学習ができる系統的な題材構成となっ

ています。

第3に、学習の具体例が分かりやすく、効果的に掲載されています。

次に、各社別に見ていきますと、教育出版は、器楽教材が授業で取り組みやすい内容となっております。また、ページごとの情報量が適切で、学年の学習の分が発達段階に合っています。

教育芸術社は、学習過程が細かく掲載され、どのように学習するかが分かりやすいです。また、題材ごとに学習を振り返られる表記となっております。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ただいまの説明につきまして、質疑をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

鈴木委員、お願いします。

○鈴木委員 児童が音楽の学習に興味・関心を持って意欲的に取り組む、つまり主体的に取り組むためには、どのような工夫がされているのでしょうか。お願いします。

○岡田教育長 藤井音楽調査部会長、お願いします。

○藤井音楽調査部会長 両社とも児童が進んで自分から学習に取り組めるように、紙面の中に学習テーマを示し、児童が見通しを持って学べるように工夫されています。また、自分で学べるようにワンポイントアドバイスやヒントが示されており、さらに、6年間で系統的に学習を積み重ねていけるように、題材構成の工夫がされています。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかにご質疑いかがですか。

岩田委員、お願いします。

○岩田委員 我が国の伝統的な音楽については、どのように紹介されていますでしょうか。

○岡田教育長 藤井音楽調査部会長、お願いします。

○藤井音楽調査部会長 伝統的な音楽については、両社とも童謡や唱歌を児童が世代を超えて大切に歌い継いでいくための教材が用意されています。また、鑑賞の分野では、民謡や地域に伝わる音楽、和楽器についても写真で詳しく説明されています。

○岡田教育長 ありがとうございます。

私からも質問よろしいですか。音楽を通して豊かな情操を培っていくということはとても大切であると思っておりますが、他者と協働して学びを深めていくということも大切で、ほかの教科もそうですけれども音楽においても他者との対話的な学びという点も注目されていまして、大事なところですよ。そういうところから思考力・判断力・表現力なども育成されると思っておりますが、各教科書会社においては、そのあたりの工夫がどのようにできているのか、何か工夫されているところはありますでしょうか。お願いいたします。

藤井音楽調査部会長、お願いします。

○藤井音楽調査部会長 両社とも鑑賞学習では、児童の言語活動が充実できるように、考えてほしい内容を紹介しております。

また、表現学習では、曲想にふさわしい表現について話し合い、音によるコミュニケーションを深められるような活動が示されております。

また、教科書ごとに文言は変わりますが、「学び合う音楽」「まなびナビ」「学び方を知ろう」や「見つける」「考える」という項目で、対話的な学びの充実を促しています。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかにご質疑いかがですか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、音楽は終了いたします。

では、次の図画工作に入ります。

図画工作の調査部会長からご説明をお願いしたいと思います。

飯塚図画工作調査部会長、お願いします。

○飯塚図画工作調査部会長 それでは、図画工作科についてご説明申し上げます。

各社とも学習指導要領との関連を十分に押さえ、学習の基となる資質・能力の3つの柱の育成が実現できるよう編集されています。

また、特別支援教育の視点を取り入れたカラーユニバーサルデザインに配慮して編集され、ユニバーサルデザインフォントを使用するなど、文字の大きさにも各学年ごとに配慮がなされています。

さらに、内容の選択も適切で、構成・分量のバランスも発達段階に応じた工夫がなされています。

表記・表現及び使用上の便宜についても、QRコンテンツを効果的に活用できるように工夫されているなどの利便性が見られます。

では次に、教科書ごとにご説明を申し上げます。

図画工作科は2社ございます。

まず、開隆堂の教科書についてです。

Aの内容の選択については、SDGsに関する内容が豊富で、活動の幅が広い内容となっていることから、発展的な児童の発想の広がりを期待できる内容となっています。さらに、具体的な作品例も多く示されており、児童が完成をイメージしやすいです。

次に、Bの構成・分量については、学年が上がるにつれて既習の用具や材料を用いた発展的に活用する題材が多く、知識や技能を積み上げられる構成に工夫されています。

Cの表記・表現及び使用上の便宜については、写真は生き生きとした表現活動をしている姿が掲載されており、QRコンテンツでは、制作動画や振り返りシートの活用ができて便利です。

最後に、Dのその他については、アーティスト紹介のページがあり、児童の活動からの広がりを感じることができます。

以上が開隆堂についてです。

続いて、日本文教出版の教科書についてです。

まず、Aの内容の選択については、SDGsに関わる多くの課題について、児童が興味を持って活動できる題材を多く取り入れた工夫がなされており、材料の選択も各学年に適した内容となっております。

次に、Bの構成・分量については、題材見開き2ページで全体の流れが分かりやすく、「学習の流れ」「指導と評価の一体化」を意識した構成であることから、活動の流れが分かりやすいです。

Cの表記・表現及び使用上の便宜については、QRコンテンツの活用では、用具の使い方を含め、多くの作品の確認ができるように工夫されていて便利です。

最後に、Dのその他については、題材で使用するプラ材の削減、材料の再利用の推進、環境への関心を高めるよう工夫されています。

以上で、日本文教出版の説明を終わります。

図画工作からの説明を終わります。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ただいまの説明につきまして、質疑をお願いいたします。

内野委員、お願いします。

○内野委員 図画工作科では、生活を美しく豊かにする造形や美術の働きについて意識していくことも学んでほしいと願っております。その中で、身近なことのひとつとして地域の良さにも着目し、生かすことも大切ではと考えますけれども、その点ではどのような工夫がなされているか教えてください。

○岡田教育長 飯塚図画工作調査部会長。

○飯塚図画工作調査部会長 一例ではありますが、地域に密着した行事や伝統工芸などと組み合わせた取組、題材や地域の施設などの展示を通して学校での学びを地域の方に伝える事例、地域の方と協働して活動する事例などが紹介されており、児童が自分たちの住む町に目を向けられるように配慮がなされています。

○岡田教育長 ありがとうございます。

そのほかにご質疑いかがでしょうか。

藤宮委員。

○藤宮委員 図画工作の教科書は、色鮮やかな写真やイラストが多く掲載されていますが、児童が興味や関心を持って主体的に学ぶためには、どのような工夫がなされていますか。

○岡田教育長 飯塚図画工作調査部会長。

○飯塚図画工作調査部会長 まず、写真やイラストについてであります。児童が生き生きと表現活動をする姿を掲載して、児童が活動を楽しみ、見通しが持てるよう分かりやすく工夫されています。

また、色の鮮やかさなどについては、児童全てが見やすく読みやすいように、ユニバーサルデザインの字の大きさ、色覚特性の有無にかかわらず見やすいように、コントラストや文字の背景色などカラーユニバーサルデザインにも配慮がなされています。

また、QRコードから様々な児童作品を見ることができ、児童のアイデアを引き出すなど、学習が深まるような工夫もされています。

○岡田教育長 ありがとうございます。

そのほかいかがですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、私のほうから一つ質問をさせていただきます。図画工作科では、身近な身の回りのものやことなどそういうところに目を向けて美しさに気づくというような学習活動があります。その中で、様々な素材と触れ合う機会が多くあると思いますけれども、持続可能な社会の実現に向けての取組というような点については、どのように工夫がされているか教えていただけますか。

飯塚図画工作調査部会長。

○飯塚図画工作調査部会長 図画工作科の学習が、身近なSDGsの活動や持続可能な社会の創造につながっていることを、学習内容との関連や発展的な内容として扱っています。例えば、自然物を多様に使用し、自然の大切さや自然と共生していくことの大切さに気づかせる題材の設定などが挙げられます。また、扱う素材についても、従来のプラスチック製のストローから紙製のストローに変えたことや、ポリ袋を大量に使用する題材を削除するなど、学習で扱う素材を工夫して、プラ材の削減に取り組む工夫がなされています。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかにご質疑いかがですか。よろしかったですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 ありがとうございます。

では、次の家庭のほうに入ります。

家庭の調査部会長からご説明をお願いいたします。

山田家庭調査部会長。

○山田家庭調査部会長 家庭科は2社です。

初めに、全体的な傾向として3点ご説明いたします。

1点目は、どちらの教科書もSDGsについて積極的に扱っており、児童が学習を通して17の目標について知り、学習したことと関連づけながら自己の生活の中で実践につなげていけるよう工夫されています。

2点目は、イラストや写真が多く使われており、道具の使い方や言葉の意味を視覚的に捉えられるよう工夫されています。

3点目として、QRコードから様々な学習コンテンツを使用できるようになっており、動画で道具の使い方を見返したり、作業の工程について具体的なイメージを持って学習したりできるようになっています。また、右利き、左利きそれぞれの道具の持ち方が掲載されているなど、多様性に配慮されています。

次に、教科書ごとの特徴です。

初めに、東京書籍です。

内容の選択としては、「消費環境生活」について、5年生の早い段階から学習に取り組むことで、SDGsの視点を後の学習に生かすことができるように配慮されています。また、インターネットでの買物が取り上げられており、時代に合った内容を使う工夫が見られます。

構成・分量として、単元が大きく分けられており、無理なく無駄なくむらなく学習を進められるような構成となっております。

表記・表現としては、巻末が工夫されており、「いつもたしかめよう」のページに、調理や裁縫のポイントが分かりやすくまとめられており、児童がすぐに確認できるようになっています。

次に、開隆堂出版です。

内容の選択としては、伝統的な文化に関する紹介が多く、特に食文化に対する興味・関心を高める工夫がされています。また、ミシンの単元が5、6年両方に含まれており、反復練習ができるようになっています。

構成・分量としては、単元が細かく分けられており、学習が苦手な児童には学習しやすく、また、学校の実態に応じて単元を組み替えることもやりやすくなっています。

表記・表現としては、目次のページについて、学習する項目が見やすく、児童が学習のめあてを立てやすいよう工夫されています。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ただいまの説明につきまして、質疑をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

内野委員、お願いします。

○内野委員 今の説明と重なってしまいますけれども、改めて詳しく教えてください。家庭科では様々な実習がありますが、QRコードからどのような学びができるのか、また使用できる学習コンテンツについて詳しく教えてください。

○岡田教育長 山田家庭調査部会長、お願いします。

○山田家庭調査部会長 どちらの教科書も包丁やミシンといった道具の使い方、調理や裁縫の仕方が繰り返し確認できる動画や、授業で使えるワークシート、資料

集などの学習コンテンツが充実しています。ある教科書は、チャートやベン図といったデジタル思考ツールを使用し、児童が考えを深めたり、新たな課題を発見したりできるような工夫がされています。もう一方の教科書では、調理手順の並び替えクイズや振り返り10問クイズなど、児童が楽しく学べるようなコンテンツが用意されています。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかにご質疑いかがですか。

鈴木委員、お願いします。

○鈴木委員 家庭科では、食育の視点を生かした指導が期待されています。どのような工夫がされているのでしょうか。

○岡田教育長 山田家庭調査部会長。

○山田家庭調査部会長 どちらの教科書も日本の食文化を学べる内容になっています。ある教科書では、日本の伝統的な食品、地域の汁物、地域の郷土料理などを取り上げ、和食の良さに触れたり、自分が住む地域の料理に興味を持ったりできるようにしています。もう一方の教科書では、和食、一汁三菜に触れており、地域の食材を取り入れた調理にも対応できるように、郷土食や伝統的な食文化が具体的に示されています。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。

岩田委員、お願いします。

○岩田委員 家庭科で学習したことは、これからの生活や生涯につながる内容であることが多いと思いますけれども、中学校への接続、また自分自身の実生活につながる工夫などありますでしょうか。お願いいたします。

○岡田教育長 山田家庭調査部会長。

○山田家庭調査部会長 どちらの教科書も中学校や将来を見越し、授業で学んだことを実生活に生かせるような工夫はされています。教科書では、家庭実践につながる活動を設定しており、そこで考えた次にやってみたいことを記録していくことで実践につながられるようにしたり、中学校への接続ページを配置し、中学校での学習イメージを広げられるようにしたりしています。また、学習内容と密接につながる職業や取組をしている方々のキャリアインタビューを掲載する、そういった工夫もあります。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかにご質疑いかがでしょうか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 それでは、次の体育に入りたいと思います。

体育の調査部会長から説明をいただきます。

石田小学校教科書採択資料作成会議座長、お願いします。

○石田小学校教科書採択資料作成会議座長 それでは、体育の報告をさせていただきます。

体育は6社について調査をいたしました。

まず、体育科の保健領域においては、身近な生活における健康・安全についての基礎的、基本的な知識・技能、健康課題の発見・解決のための思考力・判断力・表現力等、主体的な健康の保持増進や回復に取り組む態度等の学びに向かう力・人間性等の育成を重視するという観点から、どの教科書も学習指導要領に沿った内容で、学習の流れも分かりやすく工夫された構成となっていることが分かりました。

それでは、それぞれの出版社についての説明をいたします。

まず、東京書籍についてです。1単位時間の学習内容が見開き2ページの構成となっており、学習の流れが「気づく、見つける」「調べる、解決する」「深める、伝える」「まとめる、生かす」の4つのステップで進むようになっています。また、児童が教科書に直接書き込みながら学習できる箇所が多く設定されています。

次に、大日本図書です。1単位時間の学習内容が見開き1ページにまとめられています。各単元は「つかもう」「調べよう 考えよう 話し合おう」「活かそう」の3つの流れで進められるようになっています。また、けがの手当てなど具体的な活動を動画で確認できるようになっています。

次に、大修館書店です。各章の導入で著名人の写真と学習内容に関連したインタビューが取り入れられており、児童の興味・関心を引き、主体的な学びにつなげやすくなっています。また、1単位時間の学習内容が見開き1ページにまとまっており、学習の終わりの「まとめ 生かそう 伝えよう」では、友達の考えを聞いて感じたことをまとめる形式で、対話的な学びにつなげやすくなっています。

次に、文教社です。各章の初めに、これから学習する内容について自己を振り返るチェック項目があることで、児童が自分の課題を見つけやすいようになっています。また、1単位時間で扱うページの初めに、学習のめあてと流れが示されており、児童が見通しを持って学習に取り組みやすくなっています。

次に、光文書院です。1単位時間の学習内容が基本見開き1ページにまとめられており、学びが主体的で深い学びとなるように、各単元が「1 自分の生活を振り返る」「2 学習課題をつかむ」「3 課題解決に向けて学習活動を行う」「4 学習をまとめる」「5 自分の生活に生かす」の学習過程で構成されています。また、1単位時間で扱う見開きページの同じ場所にQRコードがついており、どの時間にも学習内容に関連した動画、資料を活用できるようになっています。

最後に、G a k k e nです。1単位時間の学習内容が見開き2ページで示されており、児童が直接考えを書き込むことができるようになっています。また、学習内容を広げたり深めたりするための「ほけんのはこ」というページや、発展的な内容が「もっと知りたい・調べたい」というページに設定されており、児童の興味・関心を高めることができるようになっております。

以上でございます。

○岡田教育長 ありがとうございます。

では、ただいまの説明につきまして、質疑をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

藤宮委員、お願いします。

○藤宮委員 児童の健康についての今どきの、すなわち現代的な課題に対しては、どのような配慮がなされていますか。

○岡田教育長 石田調査部会長。

○石田小学校教科書採択資料作成会議座長 健康に関する現代的な課題につきましては、どの教科書にも単元内に資料ページやコーナー等が設けられており、運動、食育、睡眠、防犯、防災、情報モラル、性についての悩み、SDGs、キャリア教育などに対応した情報が豊富に掲載されているなど配慮がされています。また、児童の発達段階に応じて説明する内容への配慮もされております。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかにご質疑いかがでしょうか。

内野委員、お願いします。

○内野委員 体の発達や発育に関する個人差を肯定的に受け止めて、また尊重できるように育ててほしいと願っておりますけれども、どのような配慮や工夫がなされているか教えてください。

○岡田教育長 石田小学校教科書採択資料作成会議座長。

○石田小学校教科書採択資料作成会議座長 発育、発達の個人差を肯定的に受け止めることにつきましては、どの教科書もイラストや写真等の資料を活用し、自他の発育、発達の違いについての理解を深め、自他の個性を尊重する態度を養えるように配慮された構成になっております。学習の中で自分の成長を振り返ることで、大切な自分に気づかせたり、性自認や性的指向について資料として掲載することで性の多様性についての理解を深めたり、自他の個性や感じ方を尊重する態度を養えるようになっていきます。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかはいかがですか。

私のほうから一つ質問をさせていただきます。今回の調査・研究に当たって、それぞれ一社ずつ説明をしていただきましたけれども、調査部会の方が特に注目していたこと、保健の学習は割と時数もあまり多くないところでもあるので、やはりどんなところに特に注目していたのか教えていただければと思います。よろしくお願いします。

石田小学校教科書採択資料作成会議座長、お願いします。

○石田小学校教科書採択資料作成会議座長 まずは、1単位時間の学習内容がどのような構成で、どのような分量になっているかについて注目しました。児童が学習内容を理解し、限られた時間の中で学びを定着させることができるような工夫がされているか、例えば見開き何ページで扱われているか、学習の流れが分かりやすいか、写真やイラスト、書き込みの量、文字の量、デジタル資料等も併せて調査をいたしました。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかにご質疑いかがでしょうか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、体育は終了といたしまして、次に外国語に入ります。

外国語の調査部会長からご説明をいただきます。

吉村外国語調査部会長、お願いします。

○吉村外国語調査部会長 外国語科は6社について調査しました。

まず、全体に共通した傾向として、大きく4点説明します。

第1は、児童の主体的で協働的な学びの促進です。単元の導入場面では、見開き1ページにイラストや写真を多く載せ、知りたい、やってみたいといった児童の興味・関心を引きながら、身近な生活の中で英語でコミュニケーションする場面が一目で分かるように工夫されていました。また、学校で、家庭で、友達と自分一人でといった多様な学び方ができるように、デジタルコンテンツが豊富です。QRコードがほぼ全ページにあるなど、児童の好奇心を刺激する多彩なコンテンツを用意していました。

第2は、国際理解、多様性の尊重です。外国語の背景にある文化、様々な国に生きる人々や題材が取り上げられていました。また、そうした世界の国々の人々と楽しく活動するイメージがありました。

第3は、指導場面と評価場面の明確化です。各単元の冒頭に目標が明示され、指導場面として言語活動に取り組みながら、単元のゴールでは評価場面と位置づけた振り返りの活動を配置しています。また、児童の学びの履歴が確認できるように、多くの書き込みスペースが配置されていました。

第4は、学びを支える様々な配慮です。特別支援やユニバーサルデザインの観点から、認識しやすい書体、紙面上のデザインや配置の統一、左利きの児童にも対応して、書き込み欄には左端からも右端からも薄くなぞることができる文字が配置されていました。

以上が全体に共通した傾向です。

次は、各教科書について説明します。

初めに、東京書籍です。各単元で実際に外国人の子どもが話している映像やSDGs関連の内容があり、学習指導要領の文化に対する理解、世界とのつながりや他教科との連携を図れる内容でした。文字の音に慣れ親しむ「Sound and Letter」のページや、英語で伝えたい情報について思考ツールを使って整理する「Check your Steps」のページもあり、英語を使って何ができたかを児童が自己評価しやすいです。また、文字を書くスペースも多く構成されていました。QRコードでは、豊富なコンテンツがそろっており、家庭学習等でも活用できる内容でした。

次に、開隆堂出版です。聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの基礎となる資質・能力を育成する上で児童が十分に表現に触れる工夫があり、アルファベット練習や単語の練習にも使用でき、幅広く学習できる内容でした。各Unitごとに活動が多く取り入れられ、日本を紹介する単元では、紹介する工夫を考え、2回の紹介を行って聞き比べ、2回目に工夫したことを話し合う展開になっているなど、しっかりと学習すれば高い言語能力が身につくと考えられました。文字の情報が多く、QRコードも多く配置され、外国語に興味を持てる構成でした。

次に、三省堂です。5年生の学習では、ローマ字で名前を書くなど学習内容が身近な題材と必要性から構成され、6年生になると、身近なことから徐々に範囲が広がり、地域や世界、将来に目を向けるように構成されているため、学習展開が児童の実態に合っている内容でした。構成として、各ページを一見したときの文字情報や写真の分量のバランス、イラストの親しみやすさなど、内容がすっきりと分かりやすくなっていました。視聴覚教材は、実際の人物が出てくる映像で分かりやすく、また、学校の中でのやり取りの例があり、親しみやすいです。QRコードのコンテンツが豊富であり、家庭学習等で予習、復習に役立つ内容でした。

次に、教育出版です。各単元で扱う内容が簡易であり、日本語や絵でも丁寧に説明されているので、英語を苦手と感じる児童にとっても取り組みやすい内容でした。各単元で活動する内容やゲームの内容も簡単で分かりやすく、Let's Listenのページがあり、児童が音声を聞きながら回答することで聞く力をつける工夫がされていました。文字が大きく、色の組合せや見やすいフォントを採用し、単元ごとのワークシートや絵カードが豊富に附属していました。

次に、光村図書出版です。目次の部分で各学年でできるようになる到達目標（Can-Doリスト）を示し、関連する主な教材、自己評価を一覧にしてあり、児童が年間を通して見通しを持って学習できることに適している内容でした。各単元では、読む、聞く、やり取りする、発表する、書くの活動のうち、多くて3つの活動までで構成されていて、分量としてちょうど良い構成でした。全ページにQRコードがあり、音声や動画のコンテンツを見たり聞いたりできるほか、どの単元でも案内役であるアニメの登場人物が同じであり、その役割を通して活動の見通しを持つことができる仕様でした。

最後に、新興出版社啓林館です。社会科で学んだ日本の伝統文化や地域特性、

算数科と関連した円グラフなどの表記があり、他の教科で学習したことが外国語の学習活動でも生かせるような内容でした。1時間の授業で扱う内容は見開き1ページで構成され、読む、聞く、話す、書く活動を順番に学習するようになっており、必要な学習活動が1時間の授業の中で行える構成でした。各ページで日本語表記より英語表記が多く、QRコードもあり、巻末には付録シートも豊富で、新たにプリント類を用意する必要がない仕様でした。

以上で、各教科書の説明を終わります。

○岡田教育長 ありがとうございます。

では、ただいまの説明につきまして、質疑をお願いしたいと思います。

藤宮委員、お願いします。

○藤宮委員 新しい言語を学ぶに当たりまして、児童が特に英語に親しみを持てるような工夫としてはどのようなものがありますか。

○岡田教育長 吉村外国語調査部会長。

○吉村外国語調査部会長 工夫については、児童が英語をただ話す、聞く、覚えるだけでなく、教科書を眺めるだけでやってみたいと思わせる言語活動がたくさんあります。さらに、デジタルコンテンツを豊富にそろえ、児童の興味に応じて英語や多文化に多く触れたり、ペアやグループで気づきや考えを促す活動ができたり、家庭で予習、復習ができたりするなど豊富な内容を扱っており、児童が意欲的に取り組めるように工夫されておりました。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかにご質疑いかがでしょうか。

内野委員、お願いします。

○内野委員 中学校の英語への学習ですけれども、小学校から中学校へスムーズに移行できるようにどのような工夫や配慮がありますか。

○岡田教育長 吉村外国語調査部会長、お願いします。

○吉村外国語調査部会長 小学校中学年では、聞く、話すを中心に学び、音声を中心とした英語でのコミュニケーション能力の基礎を学びますが、高学年では、中学校英語教育を見据え、中学年での学習に加えて、読む、書くの学習も始まります。平成29年の改訂では、外国語の4技能である聞く、読む、話す・伝える、書くのうち、書く活動について充実を図っていることが特徴的であったことから、今回の教科書においても、英語がイラストつきで載っている別冊を加えたり、教

科書のページ内に書き込みのスペースを多く取ったりすることで、英語の文字や単語、短文に親しみ、中学校での学習にスムーズに接続できる工夫がされていると感じました。

また、中学校で作成している学年の目標を見通せるCan-Doリストを目次に設定している会社もあるなど、中学年や中学校との接続も考えた明確な到達点に向けて学習を進められるようになっていきます。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかご質疑いかがですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、私のほうから一つ質問させていただきたいと思います。ご説明の中に国際理解の視点のことについてもお話をいただきましたけれども、世界の国々のことについて具体的にどのように取り上げられているか、各社いろいろと工夫はされていると思いますけれども、いかがでしょうか。教えてください。

吉村外国語調査部会長、お願いします。

○吉村外国語調査部会長 国際理解教育の視点については、外国語の背景にある文化を理解するために、映像やキャラクターなどは様々な国に生きる人々や題材が取り上げられていました。また、登場する男女のバランスの配慮、車椅子に乗った児童の発表場面があるなど、障害の有無にかかわらず多様な環境、状況の中で楽しく活動するイメージがあることや、SDGsの17の目標に関連した題材なども掲載されています。

○岡田教育長 ありがとうございます。

そのほかご質疑いかがでしょうか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、外国語のほうは終了とさせていただきます、道德のほうに入ります。

道德の調査部会長から説明をいただきます。

吉行道德調査部会長。

○吉行道德調査部会長 それでは、道德部会からの説明をさせていただきます。

今回、道德は6社です。

今回の改訂で1人1台端末を活用した内容が充実しているのが全ての教科書会社の大きな特徴となっています。また、児童が多面的・多角的に考えることがで

きるよう、動作化、役割演技を取り入れ、その方法を写真や動画で説明されています。問題解決的な力を育成するための話合いの工夫についても、写真やイラストで説明されていて、とても分かりやすいです。さらに、いじめ防止については、ユニットをつくり、直接教材を扱ったり間接教材を扱ったり充実しています。

それでは、各社の特徴について説明いたします。

東京書籍です。定番の教材と現代的な課題教材とのバランスがよく取れています。また、デジタルコンテンツがとても豊富であり、児童の考えを表現しやすくするための「心のメーター」等の具体的なツールがあり、児童だけではなく教師の助けにもなります。さらに、余分な情報がカットされていて、児童がよく考えられるような工夫もあります。

光文書院です。問いを持つ、考える、まとめる、広げるという項目が全ての教材にあり、児童が学習しやすい構成となっています。また、6社の中で一番多い40の教材があり、児童の実態に合わせて選べるように工夫されています。さらに、児童に考えさせたい内容を重点課題として取り上げ、多面的・多角的に深く考えられるようになっています。

光村図書です。教材とコラムを組み合わせたユニットを設定してあり、多面的・多角的に考えられる構成になっています。また、定番の教材が多く、充実した内容になっています。また、文章量がちょうど良く、児童が学習に集中しやすくなっています。

日本文教出版です。人権尊重、特にいじめに関しては、とても充実しています。また、別冊として道徳ノートが附属されていて、評価がしやすくなっています。さらに、心のベンチの内容が学習と生活とを結びつけて考えられるように工夫されています。

教育出版です。「家族愛」の教材内容がとても充実しています。また、漫画教材も取り入れられていて、イラストも豊富で、児童にとって理解しやすい内容となっています。さらに高学年でも分量が扱いやすい量になっていて、児童が学習に集中しやすくなっています。

G a k k e nです。教材の内容が2行以内で教材の前に書かれていて、スムーズな導入に結びつけられる工夫があります。また、発問がよく吟味されています。さらに、年度初め、年度末に自分を振り返るためのページが設定されていて、自分を見詰めるための工夫がされています。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

では、ただいまの説明につきまして、ご質問をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

鈴木委員、お願いします。

○鈴木委員 子どもたちの豊かな心を育むために、特にいじめ問題に対してそれぞれの教科書ではどのような工夫がされていますでしょうか。

○岡田教育長 吉行道德調査部会長。

○吉行道德調査部会長 いじめ問題に関しては、どの教科書会社もいじめ防止に関する内容を扱っている資料がとて多く、力を入れていることがよく分かります。また、いじめ防止ユニットをつくり、いじめを直接的に扱った教材、間接的に扱った教材等で工夫しています。さらに、コラム等でいじめの4層構造について扱っている教科書もあり、いじめは他人事ではなく自分事として捉えさせる工夫もよくあります。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

そのほかいかがでしょうか。

藤宮委員。

○藤宮委員 一人ひとりの考えを深めるためにも、多角的、それから多面的に考えることは非常に大切だと思いますが、どのような工夫がなされていますか。

○岡田教育長 吉行道德調査部会長、お願いします。

○吉行道德調査部会長 一人ひとりが考えたことや発見した問題について、多面的・多角的な考え方が持てるよう話し合ったり、動作化をしたり、役割演技をしたりすることで、児童の考えを広げ、深める工夫がされています。動作化や役割演技の具体的な方法についても写真や動画で説明されています。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。

岩田委員。

○岩田委員 扱う内容については、以前から学習教材として掲載されているものもあれば、今に合わせた現代的な課題など多様な内容が扱われていると思いますが、

現代的な課題について、教科書ではどのように工夫して取り上げられていますでしょうか。教えてください。

○岡田教育長 吉行道德調査部会長。

○吉行道德調査部会長 現代的な課題については、情報モラル、持続可能な社会づくり、いじめ問題、安全教育、防災教育、人権教育、オリンピック・パラリンピック教育、障害者理解等がありますが、教材やコラム、写真等を使ってそれぞれ学習ができるような工夫がされています。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかにはいかがですか。

内野委員、お願いします。

○内野委員 道德の学びの中で子どもたちに育むことの一つとして「よりよく生きる喜び」という項目があるかと思いますが、教科書ではどのような工夫がなされていますか。教えてください。

○岡田教育長 吉行道德調査部会長。

○吉行道德調査部会長 「よりよく生きる喜び」については、5、6年生の内容となりますが、人物の生き方に触れるために時代を切り開いた人物に焦点を当てた資料、中村哲、杉原千畝、マザー・テレサ等を掲載し、人間が持つ気高さを感じさせるような工夫があります。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、私のほうから1点質問をさせていただきます。学習指導要領のほうでは、「よりよく生きるために道徳的価値に向き合い、いかに生きるべきかを自ら考え続ける姿勢」というものを育成することが求められているわけですが、こういうことから考え議論する道徳というようなことを充実させていくための工夫についてはいかがでしょうか。そのあたり教えてください。

吉行道德調査部会長、お願いします。

○吉行道德調査部会長 教科書では、自分との関わりを考えさせ、問題意識を持たせるように、自分ならどうするかという視点で考えさせたり、あるいは考えを書

かせたりした工夫を取り入れています。また、話合いの方法、視点については、具体的に写真や動画等で示している教科書が多くなりました。さらに、児童に考えさせるために、資料中の文章を心の中の言葉、そういったものを削除する工夫をするというような教科書もありました。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかにご質疑いかがでしょうか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、ないようなので、次の小・中学校特別支援学級用教科書のほうに入ります。

溝口小・中学校特別支援学級用教科書採択調査部副会長、お願いいたします。

○溝口小・中学校特別支援学級用教科書採択調査部副会長 それでは、説明させていただきます。

市内の小・中学校合わせて4校が特別支援学級設置校となりますが、採択替えを行うのは、第一中学校になります。教科は、国語、理科、保健体育の3教科です。

資料については、調査・研究資料一覧の学年の欄に星印で示しているものです。

国語では、第1学年で、文部科学省発行の「国語☆☆☆☆☆」のものです。文字の書体や大きさなど視覚的にも分かりやすく、文章の量も適切であることや、写真も多く取り入れられており、分かりやすくなっております。

理科では、第1学年で、フレーベル館発行の「フレーベル館の図鑑NATUR A ふしぎをためす図鑑 かがくあそび」です。内容も理科全般の内容を扱っており、写真が多く載っていることや、漢字にルビがついていて、生徒が1人でも読むことができるものとなっております。

保健体育では、第2学年で、G a k k e n発行の「どんどんめくってはっけん！ からだのふしぎ」と日本図書センター発行の「逆境に負けない力をつけるこども菜根譚」です。

「どんどんめくってはっけん！ からだのふしぎ」は、体の仕組みについて、イラストを使って詳しく図解されていたり、めくる仕掛けもついていて、生徒の興味・関心を高める内容となっております。また、漢字にルビがついているため、生徒が1人でも読むことができるものとなっております。現在使用しているもの

よりも難易度は高くなりますが、生徒の実態に合う内容になっております。

「逆境に負けない力をつける こども菜根譚」は、中国古典の菜根譚を子どもでも理解できるように漢字にルビを振ったり、イラスト入りで丁寧に説明がされていて、困難な問題や状況、ストレスなどの要素に遭遇しても、立ち直って適用していくための考え方などを学ぶことができる内容となっております。

以上でございます。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ただいまの説明につきまして、質疑をお願いしたいと思います。いかがですか。
藤宮委員。

○藤宮委員 説明を聞かせていただきましたが、さらに児童の実態を深めて調査・研究されたことはよく分かりましたけれども、特に配慮した点はございますか。

○岡田教育長 溝口小・中学校特別支援学級用教科書採択調査部副会長、お願いいたします。

○溝口小・中学校特別支援学級用教科書採択調査部副会長 特に配慮した点についてであります。児童・生徒が自立する力を育成するために、児童・生徒の能力や興味・関心、卒業後の進路などを踏まえて検討することが大切な視点です。また、繰り返し学習できる図書であるかどうかも重要となります。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。

岩田委員、お願いします。

○岩田委員 採択後に絶版などによって供給が不能になる場合もあるかと思いますが、報告書にある図書で対応は可能でしょうか。お願いいたします。

○岡田教育長 溝口小・中学校特別支援学級用教科書採択調査部副会長、お願いします。

○溝口小・中学校特別支援学級用教科書採択調査部副会長 供給が不能となる図書であるかどうかにつきましては、調査・研究の段階で発行社に問い合せておりますので、供給が可能な教科書であることを想定しております。

また、供給ができない場合は、主に通常の学級で使用している教科書を使用していく予定です。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかにご質疑いかがでしょうか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、これで調査・研究資料の報告等についての説明と質疑について終わりにします。

次に、市民の方々からの意見について、教科書採択資料作成会議座長からご説明をお願いしたいと思います。

石田小学校教科書採択資料作成会議座長、お願いします。

○石田小学校教科書採択資料作成会議座長 市民の方々のご意見については、去る6月の市報において市民に広報し、6月14日から6月30日まで、中央図書館において、市民の方を対象に、小学校教科書の法定展示会を開催しました。その折に、ご意見を賜るためのアンケート形式の用紙を用意しておりました。市民からは、国語1枚、社会8枚、算数1枚、理科2枚、生活1枚、外国語1枚、道徳1枚、その他1枚の計16枚のご意見をいただきました。

いただいたご意見につきましては、扱う内容の分かりやすさや親しみやすさについて、イラストや写真等の視覚的資料について、人権について、QRコードについて、教科書の大きさやページ数について、旧日立航空機株式会社変電所の掲載についてなどがありました。

以上でございます。

○岡田教育長 ありがとうございます。

では、このことにつきまして質疑をお願いしたいと思います。何かございましたらお願いいたします。

内野委員、お願いします。

○内野委員 市民の方々からたくさんのご意見をいただきましたけれども、どのよう
うに受け止められましたか。教えてください。

○岡田教育長 石田小学校教科書採択資料作成会議座長、お願いします。

○石田小学校教科書採択資料作成会議座長 4年に一度の教科書採択のため、市民の方も関心を持っていらっしゃるがよく分かりました。また、いただいたご意見につきましても、調査・研究において話題になったことや、本日ご質疑いただいたことと重なることが多くあったと思います。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。

岩田委員、お願いします。

○岩田委員 質問ではありませんけれども、私も同じように市民の方々の教科書に対する関心が高いというふうに感じました。全てのご意見を拝見いたしました。東大和市の子どもたちのために、貴重なご意見として採択の参考にさせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。

○岡田教育長 よろしいですか。ほかにはございますでしょうか。大丈夫ですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、これをもちまして教科書採択資料作成会議からの報告についての質疑は終了とさせていただきます。

なお、この後、報告及び質疑の内容等を参考として協議し、採択を行いたいというふうに思います。

教科書採択資料作成会議の委員の皆さま、本日は早朝よりお集まりいただき、またご報告いただきまして誠にありがとうございました。

では、委員の皆さまはどうぞご退席をお願いいたします。

(委員退室)

○岡田教育長 それでは、審議を再開いたしますが、本日、この後、午後の教育委員会において、教科書の具体的な審議と決定を行う予定でございます。

午後は1時30分を開会とし、それまでの間、1時30分までは休憩というふうにしたいと思います。

傍聴の方は、資料は座席の上に置きまして、傍聴許可書のみお持ちになって退出をお願いしたいと思います。午後、再入場の際に傍聴許可書の確認をさせていただきます。

なお、午後1時15分までこちらの会議室は施錠させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

午前中大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

午前 11時51分休憩

午後 1時30分再開

○岡田教育長 それでは、審議のほうを再開したいと思います。よろしくお願いいたします。

初めに、午前中の審議の中で、道徳の調査部会長の報告において、教科書の出版会社のご説明が資料の順番どおりではありませんでしたけれども、ご説明の内容はその教科書の出版会社の内容と一致しており大丈夫でございますので、ご了承というかご理解いただければと思います。よろしく願いいたします。

それでは、事務局のほうから教育委員会としての教科書採択に関わる教育委員会としての基本的な考え及び採択基準等について確認をしたいと思います。

小野教育部参事、お願いいたします。

○小野教育部参事兼教育指導課長 初めに、教科書採択に関わる教育委員会としての基本的な考えについて確認いたします。

令和6年度使用小学校教科書及び小・中学校特別支援学級用教科書の採択に当たり、日本国憲法、教育基本法等の精神並びに東大和市教育委員会教育目標及び基本方針にのっとり、東大和市立小・中学校使用教科書採択要綱及び東大和市立小・中学校教科書採択事務要領並びに東大和市立小・中学校特別支援学級用教科書採択事務要領に基づいて、公正で適正かつ円滑な採択を実施するとともに、東大和の実態等を踏まえた採択を厳正に行うこととなります。

そして、採択の方向としては、基本的に次の4つを踏まえて実施することいたします。

第1に、豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚を育成することです。

第2に、自ら学び、自ら考える力を育成することです。

第3に、基礎・基本の確実な定着を図り、個性を生かす教育を充実することです。

第4に、各学校が創意工夫を生かし、特色ある教育、特色ある学校づくりを進めることの4点でございます。

次に、6つの採点基準の視点について確認いたします。

第1に、公正な内容で、適切な教育的配慮が施されたものであることとして、児童・生徒自らの主体的な学習が重視される中、一面的な見解に偏らず、公正な内容で発達段階に即したものであることです。

第2に、基礎・基本の確実な習得を助けるものであることとして、枝葉末節の知識を扱うのではなく、学習指導要領に定める教科の内容等に基づき、その後の学習や生活に必要であり、また、真に継承すべき内容であることです。

第3に、学び方、考え方の習得が図られるものであることとして、知識・技能の詰め込みに陥ることなく、「何を学ばばいいのか」「いかにして学ぶのか」が児童・生徒にしっかり認識され、自ら学習の方法を工夫し、考えさせるきっかけとなり、また、それらを助けるものとなっていることです。

第4に、児童・生徒にとって分かりやすく、ていねいなものであることとして、教科書が学習の確かなよりどころとなり、主体的に学習する意欲を高めるものとなるために、より分かりやすく、よりていねいで、児童・生徒の思考過程や感性に合ったものであることです。

第5に、心に響く美しいものであることとして、豊かな人間性などを育成するものとなるよう、より心に響く教材、美しい表現であること。また、写真、挿絵、図表等も、豊かな感性を育てる上で重要であり、学習効果などの観点に配慮しつつ、発達段階に応じて積極的な工夫があることです。

第6に、知識・技能が生活において生かされるよう配慮されていることとして、習得した知識・技能が実生活において生かされ、総合的に働くよう、取り上げる事例や教材を身近な例に求めたり、その内容が実生活を見直し、活用できたりするものとなるような工夫を図っていることです。

続きまして、4つの採択基準の観点について確認いたします。

第1に、内容の選択はどうであるか。

第2に、構成・分量はどのようになっているか。

第3に、表記・表現及び使用上の便宜はどうであるか。

第4に、その他、教科の特性に基づき、特に調査・研究が必要な事項についてはどうであるか。

以上でございます。

○岡田教育長 ただいま事務局より、教科書採択に係る基本的な考え及び採択基準等について確認のための説明がありました。

それでは、説明がありました教科書採択に関わる教育委員会の基本的な考え及び採択基準等を踏まえ、具体的な審議を行います。

審議の進め方につきまして、再度、事務局から説明をお願いいたします。

教育部参事、お願いいたします。

○小野教育部参事兼教育指導課長 これより、ご審議と採択をお願いしたいと思いますが、採択につきましては、小学校教科書の種目ごとに審議と採択を行います。

次に、同様の流れで小・中学校特別支援学級用教科書のご審議と採択を行うという進行で、効率的に進めたいと考えております。

以上です。

○岡田教育長 ただいま事務局より、審議・採択の進め方について確認がございましたが、よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 それでは、これより小学校教科書、小・中学校特別支援学級用教科書の順で、審議と採択に入ります。

まず、国語について審議をいたしますので、ご意見を各委員の方、よろしくお願いいたします。

では、内野委員、お願いします。

○内野委員 私は教育出版が良いと思いました。読み物だけではなく、話す、聞く、書くことの教材も、身の回りの題材をうまく取り入れながら魅力的なものが豊富に用意されている点や、古文、漢文が分かりやすく扱われていることなどが良いと考えました。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

藤宮委員、お願いします。

○藤宮委員 私は光村図書が良いと思いました。説明的な文章と文学的な文章のバランスが良くて、読んでいて子どもの心にいろいろな語彙、すなわち言葉が浮かんでくるような表現になっているところが良いと思いました。

○岡田教育長 ほかにはいかがですか。

岩田委員、お願いします。

○岩田委員 私は教育出版が良いと思います。構成として、完結で見やすく、児童が見通しを持って主体的に学ぶ上で効果的であることや、特に6年生の下巻には、現代女性につながる偉業を数多く残した津田梅子さんの伝記が掲載されており、また新札にも掲載されることから、旬の内容であるところも良いところだと考えます。

○岡田教育長 鈴木委員、お願いします。

○鈴木委員 私は全体的な印象として、どの教科書もよく工夫されていて、それぞれ良さがあると思いました。選ぶのが難しいと感じましたが、選ぶとすると光村

図書が良いと思いました。学習の手引等が詳しく示され、見通しを持って学習を進めることができることや、挿絵や写真が親しみやすく、教材の内容と関連していて、分かりやすいところが良いと考えました。

○岡田教育長 ありがとうございます。

では、私ですけれども、私もどの出版会社も工夫されていて良いと思いますけれども、やはり光村図書がより良いと感じました。児童一人ひとりの興味に沿って学習が進められるように課題選択が設けられていたり、また、考えるための観点が複数示されていたりします。それから6年生では、宮沢賢治の「やまなし」など長く親しまれている教材やまた現代的なもの、それと狂言「柿山伏」なども入っていたと思いますけれども、そういう幅広い分野を網羅しているところが良いと感じました。

ほか何かご意見などございましたらお願いしたいと思っておりますけれども、ほかよろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 これまで皆さん、調査・研究部会の部会長の話やそれぞれ見本本をご覧になって、いろいろと良いところを見つけていただいたと思っておりますけれども、ここで採択をしていきたいと思っておりますので、これまでの意見等をもう一度振り返りながらお考えいただければと思っております。

採択に当たりましては、全種目とも各教科書会社名を目録順に読み上げていきますので、採択に適すると判断する教科書会社に挙手をお願いいたします。

なお、5名の委員の挙手が出尽くした時点で各教科書会社の呼名は終わりにします。同数票の場合は、同数票の教科書会社のみについて再度挙手をし直して決定いたしますので、あらかじめご了承ください。よろしいですか。

では、しばらく時間を取りたいと思っておりますので、今一度ご自身の意見を再考していただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 それでは、国語の採決を行います。

では、東京書籍、0票。

教育出版。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 2票。

光村図書出版。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 3票。

今5人が出尽くしましたので、採決の結果、教育出版が2票、光村図書出版が3票となりました。

国語については、光村図書出版に決定しますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 では、よろしく願いいたします。

次に、国語の書写について審議をいたします。

では、各委員のご意見をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

藤宮委員。

○藤宮委員 私は、東京書籍が良いと思いました。目当てがはっきりしていることや、毎時間の学習に「書写のかぎ」という字を書くときのポイントが簡潔に示されているために、児童が大切なことを意識して取り組めると思いましたので、これが良いと思いました。

○岡田教育長 ほかにいかがですか。

では、内野委員、お願いします。

○内野委員 私は光村図書が良いと思います。ページの左側には、毛筆の手本、右側に狙いや気をつける点などが書かれていること、進め方もスリーステップで進めるなど、一貫性のある構成紙面になっており、分かりやすく学べる点や、QRコードでつながるコンテンツが豊富で、繰り返し振り返りができる、そのような活用の仕方ができる点が良いと思いました。

○岡田教育長 岩田委員、お願いします。

○岩田委員 私は教育出版が良いと思いました。「めあて」や「ふりかえろう」が分かりやすく書かれていて見やすいため、児童が大切なことを意識しながら主体的に取り組むことができるのではないかと思います。

○岡田教育長 鈴木委員、お願いします。

○鈴木委員 私は光村図書が良いと思いました。学習内容として、手紙や新聞、ポスターなど日常の書写を取り上げていることや、文字の形を整えるポイントに視点を当てているところなどが良いと考えました。

○岡田教育長 ありがとうございます。

私も光村図書が良いと思いました。小学校入学後に硬筆の学習が始まる1年生、そして毛筆が始まる3年生に対してスタートブックというものが用意されていて、書写の基礎や基本を丁寧に学習できるというところが良いと思いました。

また、今の思いを書き残そうというところや、私の文字ということで有名人のことが書いてあったりするなど、自分の字に自信を持たせるような意図もあるように感じました。

ほかにご意見はございますか。よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 それでは、また書写の採決をしますが、しばらくお考えください。

それぞれの委員の意見も参考にしながら、もう一度お考えいただければと思います。お願いいたします。

では、大体よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 それでは、書写の採決を行います。

東京書籍。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 1票です。

教育出版。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 同じく1票です。

光村図書出版。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 3票です。

採決の結果、東京書籍が1票、教育出版が1票、光村図書出版が3票となりました。

よって、書写については、光村図書出版に決定します。よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 次に、社会について審議をいたします。

それでは、各委員のご意見をお願いしたいと思います。

藤宮委員。

○藤宮委員 私は、教育出版が良いと思いました。ページごとに「この時間の問い」や「次につなげよう」が示されているために、何を学ぶかが分かりやすいこと、そして「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の学習の流れの構成が分かりやすいことが良いと考えました。

○岡田教育長 ありがとうございます。

そのほかいかがでしょうか。

鈴木委員。

○鈴木委員 私は、東京書籍が良いと思いました。単元ごとの学習段階と目当てが大きく示されていて学習内容が分かりやすいことや、写真、挿絵、図表などの資料が鮮明であることなどが良いと考えました。

○岡田教育長 ありがとうございます。

続いて、ほかにはいかがですか。

内野委員。

○内野委員 私は教育出版が良いと思います。本文と資料、問いかけ等の配置がパターン化されていて見やすいことや、繰り返しの学習によって調べたり考えたりする力が身につくような内容になっている点、また、本市の旧日立航空機変電所が掲載されていることなどから、身近な環境から歴史を捉えて学ぶことができることなどが良いと考えました。

○岡田教育長 ありがとうございます。

では、岩田委員、お願いします。

○岩田委員 私は日本文教出版が良いと思いました。理由は、玉川上水や野火止用水、そして本市にある旧日立航空機変電所などの近隣がテーマとして多く取り上げられていることが、学習内容について身近なこととして捉えやすいのではないかと考えます。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

私ですけれども、どの出版会社も工夫されていて良いという印象でしたが、その中でも教育出版が良いと思いました。「この時間の問い」や「次につなげよう」の項目や学習の流れが分かりやすい構成から、児童が学習課題を把握して、その解決の見通しを持つことができる工夫があるということ、それからキーワードの部分でこの太字部分になっているところが結構見やすかったということや、

QRコードの資料が多数あるというようなどころから、問題解決的な学習を進める上で活用しやすい内容になっているというふうに考えました。

また、旧日立航空機変電所が掲載されているというところや、身近な社会生活を考える内容として、3年生の教科書は、区役所ではなくて市役所として取り上げてくださっていきまして、東大和市なので市役所のほうが子どもたちが身近に感じることができるところ、そういうところから日常生活のつながりを意識して、課題を追究したり解決したりする学びにつながるところが良いと思いました。

ほかにはいかがでしょうか。ございますか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 ではここで時間を取りますので、また今の意見を聞きながらしばらくお考えいただければと思います。

よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 それでは、採決をしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 では、社会の採決を行います。

まず、東京書籍。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 1票です。

教育出版。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 3票です。

日本文教出版。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 1票です。

採決の結果、東京書籍が1票、教育出版が3票、日本文教出版が1票となりました。

社会については、教育出版に決定します。よろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 では次に、社会の地図について審議をいたします。

では、各委員からのご意見をお願いしたいと思います。

藤宮委員、お願いします。

○藤宮委員 私は帝国書院が良いと思いました。全体的に見て、文字や色使い、地図の描き方などについて、色の濃淡や発色が良く、見やすいと思いました。また、「日本の自然災害」というテーマで4ページにわたり説明があり、4年生で行う防災マップ作りにも生かせることが良いと考えました。

○岡田教育長 そのほかいかがでしょうか。

鈴木委員、お願いします。

○鈴木委員 私は帝国書院が良いと思いました。3年生から使い始めることを考えた際に、地図の入門段階に対応した工夫があることや、発達段階や他教科に関連した内容がたくさん掲載されていることなどが良いと考えました。

○岡田教育長 ほかはいかがでしょうか。

では、内野委員、お願いします。

○内野委員 私も帝国書院が良いと思います。学年に応じて有効的に活用できるような工夫がたくさん見られて、また、QRコードから活用できるコンテンツの種類が豊富なことから、授業内でも効果的に活用ができ、児童の理解や興味が深まると考えました。

○岡田教育長 ありがとうございます。

岩田委員、お願いします。

○岩田委員 私も帝国書院が良いと思いました。掲載されている資料としては、人口統計が2021年のものを扱っていることから、使用する際にできるだけ新しいデータが掲載されていることや、日本の領土とその周りとして国の範囲を学ぶ際に、日本固有の領土が同じページに掲載されており、全体を把握しやすいことなども良いと考えます。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

私も帝国書院が良いと思いました。社会科などで調べ学習をする際には、地図帳を辞書のように活用する場面が多く出てくるとは思いますが、そのため、地図を見たときに、地形の高低や距離、広がりといったもの、特に山脈などもとても分かりやすくはっきりとしていて、色の濃淡がとても分かりやすいということ、また、複数の視点から比較して掲載することで、地域の特徴を捉えやすくなることも良いと思いました。東大和市の多摩湖も見ましたけれども、多摩湖の様子も割

と分かりやすく、東大和市の子どもたちにとって、シンボリックな湖は見やすいほうが良いと感じたところもありました。

ほかにはいかがでしょうか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 それでは、社会の地図の採決を行います。またここでしばらくお時間を取りますので、もう一度お考えをまとめていただければと思います。

よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 それでは、地図の採決を行います。

東京書籍、0票です。

帝国書院。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 5票です。

採決の結果、帝国書院が5票となりました。

地図については、帝国書院に決定します。よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 ありがとうございます。

次に、算数について審議をいたします。

それでは、各委員からのご意見をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

では、内野委員、お願いします。

○内野委員 私は東京書籍が良いと思いました。シンプルでありながら、学習の流れが分かりやすく、また児童が自ら学び、解決していけるような工夫があると感じました。また、考え方のヒントとなる吹き出しの内容も工夫されている点や、図形やグラフなども見やすいことなどが学びやすいと考えました。

○岡田教育長 ありがとうございます。

岩田委員、お願いします。

○岩田委員 私は教育出版が良いと思いました。単元配列の工夫として、割り算においては、特にいくつ分を求める割り算を先に学習し、次に1つ分を求める割り算を学ぶことについて、児童にとって分かりやすい流れであるというふうに考えました。

以上です。

○岡田教育長 鈴木委員、お願いします。

○鈴木委員 私は学校図書が良いと思いました。小單元ごとに、目当て、学習、まとめが分かりやすく、児童が見通しを持って主体的に学び進めることができること、そして「できるようになったこと」「ふりかえろう」などにおいて学習のまとめが丁寧に押さえられていることなどが基礎・基本の定着に向けて良いと考えます。

○岡田教育長 藤宮委員、お願いします。

○藤宮委員 私は学校図書が良いと思いました。問題と問題の配置にゆとりがあり見やすいです。また、考え方モンスターという問題を考えるヒントがあり、児童が自ら学習に挑戦できる工夫があることです。そして、中学校へのかけ橋という別冊があり、中学校への学習との接続にも配慮されていることなどが良いと考えた点です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

私も各出版会社ともにそれぞれ工夫があり、非常に面白いと思いました。その中でも私は教育出版が良いと感じました。問題提示などにおいては、実際の写真を扱う場面が多く、小学校段階の算数においては、日常生活や社会の事象から場面を捉えて考えることが大切であるというふうに考えていますが、円の面積を求めるところでは、日常の生活のピザを用いて、四角と円でどっちかなという本当に考えさせるようなところとか、それぞれの出版会社がそれぞれの導入の仕方考えられてはいますが、非常に本当に子どもが迷いそうな部分を取り上げているというのは、子どもと日常の生活とのつながりがより意識されて作られているのではないかというふうに感じました。

私のほうは以上です。

ほかにはご意見いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 それでは、算数の採決を行います。またしばらくお時間を取りますので、ご意見をまとめていただけるとありがたいです。お願いします。

大体まとめられましたでしょうか。大丈夫ですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 それでは、算数の採決を行います。

東京書籍。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 1票。

大日本図書、0票です。

学校図書。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 2票です。

教育出版。

(賛成者挙手)

2票です。

採決の結果、東京書籍が1票、学校図書が2票、教育出版が2票となりました。

今の採決では、得票数多い学校図書と教育出版が2票ずつとなりましたので、先ほど説明をいたしました、この2つの教科書会社に絞ってもう一度採決を取り直しますので、先ほどの審議や意見も参考にしながらもう一度検討をしていただきますようよろしくお願いいたします。少しだけ時間を取りたいと思います。

よろしいですか。どうですか。よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 では、学校図書と教育出版の2社で改めて採決を行います。

学校図書。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 2票です。

教育出版。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 3票です。

採決の結果、学校図書が2票、教育出版が3票となりました。

算数については、教育出版に決定します。よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 次に、理科について審議をいたします。

それでは、各委員のご意見をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

岩田委員、お願いします。

○岩田委員 私は教育出版が良いと思いました。構成として問題、観察・実験、結論という学習の流れがあり、問題解決の見通しを持って学ぶことができることや、

「ふり返ろう」「確かめよう」では、単元の前後で学習後の自己の成長を振り返れたり、学んだことを身の回りのことに当てはめて考えることで深い学びにつながったりすることが良いと考えます。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかの委員はいかがですか。

藤宮委員。

○藤宮委員 私は教育出版が良いと思いました。「ふり返ろう」というページで学習前後の自分の考えや学びを振り返ることができ、自分の考えのより深まった点について、またより良く理解できた点について実感できるところが良いと思いました。

○岡田教育長 鈴木委員、お願いします。

○鈴木委員 私は、新興出版社啓林館が良いと思いました。学習の初めの問題を見つける段階を重視していて、解決する過程を簡潔にまとめていることや、観察・実験と結果、まとめのページを分けることで、児童が考える時間と振り返りの時間を区別しているところが良いと考えました。

○岡田教育長 内野委員、お願いします。

○内野委員 私は大日本図書が良いと思いました。問題解決の過程が丁寧で分かりやすい点や紙面にゆとりがあり見やすいこと、また、日常生活に関係している科学的豆知識などがあり、興味・関心が高まるころなども良いと考えました。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

私は、教育出版が良いと思いました。学習したことを基に、自然現象や自然物を様々な角度から考えて学習活動ができるよう工夫されており、深い学びへとつながっていくことや、また、人の誕生の初めの写真では、各社でいろいろな工夫をされていますけれども、そこには父母の写真が掲載されておりまして、さらには成長する過程の写真もあり、生命のつながりを意識できるような内容になっているというところに、その工夫の良さを感じました。

ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 それでは、ここで理科の採決をしたいと考えます。

またしばらく時間を取りますので、ご意見まとめていただければと思います。
大体よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 それでは、理科の採決を行います。

東京書籍、0票です。

大日本図書。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 1票です。

学校図書、0票です。

教育出版。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 3票です。

新興出版社啓林館。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 1票です。

採決の結果、大日本図서가 1票、教育出版が 3票、新興出版社啓林館が 1票となりました。

理科については、教育出版に決定します。よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 次に、生活について審議をいたします。

各委員のご意見をお願いいたします。

内野委員。

○内野委員 私は東京書籍が良いと思いました。まず、子どもたちの生き生きとした表情の写真が多いところや、町探検の内容が充実しているなど、町の施設に重きを置いていることから、身の回りの自然や事象、日々の生活に目を向けた学びが充実できるのではないかと考えました。

○岡田教育長 ありがとうございます。

鈴木委員。

○鈴木委員 私は学校図書が良いと思いました。話合い活動を重視して学習が進められているところ、キャラクターがその方向づけをしていることで、話合い方の配慮がされていることや、「ものしりノート」の内容が充実していて、学習の際

の参考になるところなどが良いと考えました。

○岡田教育長 ほかの委員はいかがですか。

岩田委員、お願いします。

○岩田委員 私は、東京書籍が良いと思いました。「はなをさかせよう」や野菜と苗の学習などでは、種、双葉、花などの経過が分かりやすく掲載されていることや、絵や写真、イラストの使い方が上手で、色合いや文字とのバランスも良く見やすいところなどが良いと思いました。

以上です。

○岡田教育長 藤宮委員。

○藤宮委員 私は教育出版が良いと思いました。写真が多く掲載されていて、場面のイメージがしやすく、児童の興味・関心を高める工夫があることや、「わくわくすいっち」では、今の自分について知ることができ、これを学習の前後で活用することにより、学びの成長を感じられると思いました。

○岡田教育長 ありがとうございます。

私は、東京書籍が良いと思いました。東大和市では、市内の小・中学校において、地域社会人材や資源を活用した探求的な学びというのを推進しています。そういうことから、地域に目を向けた学びが充実している内容であると思いました。そのほかに、保護者に向けて本学習で目指している内容等について記載され、保護者に目指すことが何かを伝えていきます。そういうことから、家庭でも子どもへの教育について理解をしていただけるので、日常の中で学習内容と関連させながら生活できるという、そういう工夫があるのではないかというふうに思いました。

ほかには、ご意見ございますか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 それでは、採決をいたしますが、またお時間を取りますので、しばらく考えていただきたいと思います。

よろしいですか。大丈夫ですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 それでは、生活の採決を行います。

東京書籍。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 3票です。

大日本図書、0票です。

学校図書。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 1票です。

教育出版。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 1票です。

採決の結果、東京書籍が3票、学校図書が1票、教育出版が1票となりました。
生活については、東京書籍に決定しますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 次に、音楽について審議をいたします。

では、各委員からご意見をお願いいたします。

岩田委員、お願いします。

○岩田委員 私は、教育芸術社が良いと思いました。鑑賞教材や歌い継がれる日本の歌などが多く取り上げられていることや、演奏家のコメントなどもあり、生活と音楽の関わりに意識を向けた学びが充実していることが良いと考えます。

以上です。

○岡田教育長 内野委員。

○内野委員 私は教育出版が良いと思いました。歌詞に合った美しい写真の選定がすばらしく、視覚的にも音楽の美しさに触れられるものになっていることや、鍵盤ハーモニカやリコーダーの導入がスモールステップで扱われている点、また、リコーダーの運指図も分かりやすい点などが良いと思いました。

○岡田教育長 鈴木委員。

○鈴木委員 私は教育芸術社が良いと思いました。学習のめあてが具体的に示されていることや、「考える」「見つける」等のマークで学習の精選がされていることなどから、児童が見通しを持って主体的に学ぶことができる場所などが良いと考えました。

○岡田教育長 藤宮委員。

○藤宮委員 私は教育出版が良いと思いました。1年生の段階から学習内容が多岐にわたっていて、音楽の楽しさを味わえるところ、体全体で音やリズムを味わう学びが多く取り入れられているところ、歌に合ったイラストなどがたくさん掲載

されていて、色合いからも楽しさを感じられたりするところが良いと考えました。

○岡田教育長 ありがとうございます。

私は2社ともとても工夫されていて、大変良いところではありましたが、最終的には教育芸術社が良いというふうに思いました。大きな特徴として、どのページにもQRコードがあり、楽譜を読み取ることは難しいですけれども、QRコードを読み取ることにより、どういう音楽か分かるということが非常に良いと思ひまして、自宅でそれを読み取り事前に予習したり、どういった音楽であったか聞き返して復習や練習したりすることなどもできます。そんなところが児童の興味・関心を高めて、主体的な学びにつながっていくのではないかとというふうに考えたところです。

ほかにご意見ございますでしょうか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 それでは、音楽の採決をいたしますが、また時間取りますので、しばらくお考えいただきたいと思ひます。

大体決まりましたか。よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 それでは、音楽の採決を行います。

まず、教育出版。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 2票です。

教育芸術社。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 3票です。

採決の結果、教育出版が2票、教育芸術社が3票となりました。

音楽については、教育芸術社に決定しますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 では次に、図画工作について審議をします。

各委員のご意見をお願いしたいと思ひます。

岩田委員。

○岩田委員 私は開隆堂が良いと思ひました。「小さな美術館」では、有名な作品が取り上げられていて、学習の中で本物の芸術作品に触れる機会があるとともに、

児童が生活の中で名画や著名な作家の作品に出会った際などにも学ぶことにつながることや、児童が笑顔で楽しそうに制作している様子が伝わるところが良いと思いました。

以上です。

○岡田教育長 内野委員、お願いします。

○内野委員 私も開隆堂が良いと思いました。学習のめあてが分かりやすく示されていることや、QRコンテンツも充実していて、作品を動画で見ることができる点も興味・関心を高め、主体的に学ぶことができると感じました。また、1、2年生の上巻では、幼稚園、保育園からの移行への配慮を感じた点や、共同での制作や観賞などの場面で楽しさが伝わる写真が多く使われている点も良いと思いました。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

鈴木委員、お願いします。

○鈴木委員 私は開隆堂が良いと思いました。子どもが感じたことや想像したことを大事にして表現する活動が多く取り入れられているところや、各学年の内容が系統的、構造的に配列されていて、見通しを持てるようになっているところなどが良いと考えました。

○岡田教育長 藤宮委員、お願いします。

○藤宮委員 私は開隆堂が良いと思いました。最初のページに美術で活躍している人の紹介が掲載されていて、この教科で学ぶことの魅力を伝える内容があること、そして人や町とのつながりなども図画工作を通して考えるように導いているところなど、それから発色が美しいところなどが良いと考えました。

○岡田教育長 ありがとうございます。

私も開隆堂が良いと思っていました。巻末に学びの資料があることで、子どもが制作する中で表現したいと思ったときの参考になり、思いを表現する楽しさ、表現できたときの充実感につながる工夫があることや、振り返りシートなどが充実しているので、題材を通して学んだことを実感できる場所などが良いというふう感じたところです。専科の先生が使うのか、または担任の先生が使うのかというところで悩むところもございましたが、最終的にそういう学びの資料や振り返りシートなどの良いところに関心を持ちました。

また、皆さん、この後ご意見がなければお考えいただければと思いますけれども、ほかにご意見ございますでしょうか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、少し時間を取ります。またお考えをまとめていただければと思います。

よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 それでは、図画工作の採決を行います。

開隆堂出版。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 5票です。

採決の結果、開隆堂出版が5票となりました。

図画工作につきましては、開隆堂出版に決定します。よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 次に、家庭について審議をいたします。

各委員のご意見をお願いいたします。

藤宮委員。

○藤宮委員 私は開隆堂が良いと思いました。内容として、衣・食・住の生活や消費・環境に関する単元が均等に配列されていて、バランス良く学習できるようになっていることや、伝統的な文化に関する紹介、それから食文化に対する興味・関心を高める工夫が大変良くできていると思いました。

○岡田教育長 鈴木委員、お願いします。

○鈴木委員 私は東京書籍が良いと思いました。「いつもたしかめよう」では、実習や生活の中で必要となる基本的な技能を写真やイラスト、デジタルコンテンツで分かりやすくまとめており、基礎技能の定着につながっていくことや、また活動では、話し合うときや考えるときなどのポイントを具体的に例示されていたり、思考ツールの例が紹介されていたりしているので、対話が充実して、深い学びにつながる工夫があると考えました。

○岡田教育長 内野委員、お願いします。

○内野委員 私も東京書籍が良いと思いました。学習の流れが全て同じステップで展開されていることから、見通しを持って学習を進められるところや、実際の生

活で生かされる内容が多い点、またQRコードに関しては、手順がシンプルで見たいものがすぐに見られるところや、紙面では伝え切れない部分をQRコンテンツで補っている点等、実習科目だからこそ、QRコードの活用が利点として生きていて良いと考えました。

○岡田教育長 岩田委員、お願いします。

○岩田委員 私は開隆堂が良いと思いました。家庭生活に必要な実践的また体験的な学習が、簡単なものから少しずつ段階的に学ぶことができるようになっていることで安全面に配慮されていることや、紙質もページがめくりやすく良いと感じました。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

私は、東京書籍が良いと思いました。「消費生活・環境」については、インターネットでの買物についても取り上げていたり、SDGsや家庭生活との関連についての記載が多いことなどから、家族や家庭生活の多様化や消費生活の変化、持続可能な社会の構築など、今後の社会の急激な変化において主体的に対応することができる内容であると思いました。また、「いつもたしかめよう」については、巻末にまとめて技能の面が掲載されており、活用しやすいように感じました。

以上です。

ほかにご意見ございますでしょうか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 それでは、またお時間を取りますので、お考えをまとめていただければと思います。

よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 それでは、家庭の採決を行います。

まず、東京書籍。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 3票。

開隆堂出版。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 2票。

採決の結果、東京書籍が3票、開隆堂出版が2票となりました。

家庭については、東京書籍に決定します。よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 次に、体育について審議をいたします。

では、各委員のご意見をお願いいたします。

藤宮委員。

○藤宮委員 私は光文書院が良いと思いました。学習の課題や進め方がはっきりしていることで取り組みやすく、そして文字や絵、書き込み部分のバランスも良く、読みやすいところが良いと考えました。

○岡田教育長 ありがとうございます。

鈴木委員。

○鈴木委員 私も光文書院が良いと思いました。見開き1ページの各単元の学習について、「みつけよう」「調べよう」「話し合おう」「生かそう」という見出しが学習の流れに沿って表記してあるため、学習活動が分かりやすく、見通しを持って取り組むことができることなどが良いと考えました。

○岡田教育長 岩田委員。

○岩田委員 私は東京書籍が良いと思いました。説明や設問、書き込み余白のバランスが良く、使いやすさを感じたことと、けがの手当てや薬物に関しての内容が詳細に書かれていることなどが良いと思いました。

以上です。

○岡田教育長 では、内野委員、お願いします。

○内野委員 私は光文書院が良いと思いました。他の教科と比べて実施授業時数も少ない中で、児童が1時間の中で気づき、考え、習得することを考えると、内容の分量もちょうど良く感じました。また、学習の導入が工夫されている点や、毎時間の終わりには「学んだことを生かそう」の活動を設定し、学習したことを日常に生かせるように振り返りがされていることから、実生活や実社会で活用できる力を育てられる工夫がある点が良いと思いました。

以上です。

○岡田教育長 私は東京書籍が良いと思いました。子どもたちにとって、これから自分の体の変化に気づいたり向き合ったりする時期を迎えるに当たり、第二次性徴についてのところは自分や他者を理解する上でも、とても大切な内容でありま

す。そこに男女の体格の違いを考えさせるイラストがあり、その提示がとても分かりやすかったという印象があります。また、そのイラストでは、ほかのイラストも同様ですが、障害者や外国籍などの人物も掲載されていることから、多様な社会の中で共に生きる意識を自然と養えることができるのも良いと感じました。

ほかにはご意見ございますでしょうか。

(発言する者なし)

○**岡田教育長** では、またお時間を取りましてから、採決に入りますので、しばらくお考えいただければと思います。

よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○**岡田教育長** それでは、体育の採決を行います。

まず、東京書籍。

(賛成者挙手)

○**岡田教育長** 2票です。

大日本図書、0票です。

大修館書店、0票です。

文教社、0票です。

光文書院。

(賛成者挙手)

○**岡田教育長** 3票です。

採決の結果、東京書籍が2票、光文書院が3票となりました。

体育については、光文書院に決定します。よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○**岡田教育長** 次に、外国語について審議をいたします。

各委員のご意見をお願いいたします。

藤宮委員。

○**藤宮委員** 私は東京書籍が良いと思いました。別冊の「My Picture Dictionary」は、英語がイラストつきで掲載されていてとてもきれいなことから、英語の学習への興味・関心を高める工夫になっていること、そして、各単元で実際に外国の子どもが話している映像があったり、SDGsの関連の内容があったりすることから、文化に対する理解や世界とのつながり、他の教科との連携を図

れる工夫がしてあると考えました。

○岡田教育長 ありがとうございます。

ほかの委員はいかがですか。

内野委員。

○内野委員 私は光村図書が良いと思いました。コミュニケーションを図る際に大切にすることや、相手の気持ち、心が通う受け答えも示されており、気持ちを通わせるコミュニケーションを学ぶという視点でもきめ細やかさや丁寧さを感じました。また、表記や構成にも一貫性がある見やすいことや、学習に必要な音声や動画がQRコードから参照できる点なども良いと思いました。

以上です。

○岡田教育長 鈴木委員。

○鈴木委員 私も光村図書が良いと思いました。巻頭にCan-Doリストの一覧やUnitのゴールなどが示されていて、児童が見通しを持って取り組めるようになっていること、さらにユニットの初めに「Hop」「Step」「Jump」が示されていること、見通しを持ちながらスモールステップを踏んで取り組めるため、着実な習得や活動につながるところが良いと考えました。

○岡田教育長 岩田委員。

○岩田委員 私は開隆堂出版が良いと思いました。各場面で扱われている内容については、登場人物のやり取りにストーリー性があり、楽しみながら聞いたり自分のことを伝えたりすることができることや内容にも親しみやすさを感じました。また、英語がイラストつきで掲載されている別冊の「World Book」は、5、6年生のそれぞれに合った学習場面で活用できるところも良いと考えました。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

先生がどういう使い方をするかによってどこの教科書が良いのか非常に難しく感じましたが、私は三省堂が良いと思いました。構成として、1年間の学習目標を3つの大きな単元、Unitとして示していて、そのUnitのまとまりごとにテーマを設けることで学習目標を達成しやすいつくりになっていると感じました。また、話したりやり取りをする内容が日本の行事など必然性の感じやすいものを題材として扱っていて、児童にとっても分かりやすく活用しやすい内容であると感じたところでもあります。

そのほかに意見はございますでしょうか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 では、外国語の採決をしたいと考えますが、またしばらくお考えをまとめる時間を取りますので、お願いいたします。

大体よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 それでは、外国語の採決を行います。

東京書籍。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 1票です。

開隆堂出版。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 1票です。

三省堂。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 1票です。

教育出版、0票です。

光村図書出版。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 2票です。

採決の結果、東京書籍が1票、開隆堂出版が1票、三省堂が1票、光村図書出版が2票となりました。

外国語については、光村図書出版に決定します。よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 次に、道徳について審議をいたします。

各委員のご意見をお願いいたします。

岩田委員。

○岩田委員 私は日本文教出版が良いと思いました。「心のベンチ」というコラムでは、例えば「地域を語ろう」や「ふわふわ ちくちく」など道徳的価値をさらに深く多面的・多角的に考えることができるように様々な知識や活動が紹介されていることや、ほかの教科との関連もページ下に記載されていることで、子ども

も道徳で考えたことをほかの学びの中でも意識できるところが良いと思います。

以上です。

○岡田教育長 鈴木委員、お願いします。

○鈴木委員 私は光村図書が良いと思いました。子どもたちが様々な話題に触れられるよう多種多様な教材が掲載されていることや、現代的な課題であるいじめ、情報、環境、共生などについて教材とコラムを組み合わせたユニットを組んで、児童一人ひとりが自分と向き合いながらじっくり考えることができる場所などが良いと考えました。

○岡田教育長 ありがとうございます。

藤宮委員。

○藤宮委員 私は光文書院が良いと思いました。児童が教材を読んで考えるのにふさわしい文が多いと思いました。また、見つける、考える、広げるという一連の流れの学習がありますが、子どもが持つ問いを日常生活からも見つけて考え、授業が終わった後も学びが続くような工夫がされていることや、教材の数も40と多く、各学級の児童の実態に合わせて内容を選んで学習できる場所が良いと考えました。

○岡田教育長 ありがとうございます。

では、内野委員、お願いします。

○内野委員 私は東京書籍が良いと思いました。学年ごとの裏表紙にすてきなメッセージがあり、子どもにも大人にも心に響く内容になっていると感じました。巻頭にある「どんな 学びを するのか？」では、学年に応じて丁寧に自己を見詰める際の考え方が示されて分かりやすいこと、また、学級の児童の実態に応じて柔軟に展開できるように発問が2つに絞られている点、そして、挿絵やレイアウトにも児童が考え議論する道徳となるよう配慮がされている点などが良いと思いました。

以上です。

○岡田教育長 ありがとうございます。

私は東京書籍が良いと思いました。「心のメーター」や「心情円」「心情スケール」というツールがついておりまして、児童が教材を読む中で、言葉では表現しにくい微妙な心情や思考の変化など、自分の考えを可視化することができるツールであると思いました。子どもが自分の中の揺れ動く気持ちを捉えて、自己対

話もしやすくなり、また他の人の心情や考えも可視化されるので、より活発に議論が交わされるなど、考える道徳、議論する道徳につながっていくのではないかと思います。

そのほかにご意見はございますでしょうか。

(発言する者なし)

○岡田教育長 それでは、道徳の採決をいたしますので、しばらくまたお考えをまとめていただければと思います。

よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 それでは、道徳の採決を行います。

まず、東京書籍。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 2票です。

教育出版、0票です。

光村図書出版。

○岡田教育長 1票です。

日本文教出版。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 1票です。

光文書院。

(賛成者挙手)

○岡田教育長 1票です。

採決の結果、東京書籍が2票、光村図書出版が1票、日本文教出版が1票、光文書院が1票となりました。

道徳については、東京書籍に決定します。よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 それでは、次に特別支援学級用の教科書について審議をお願いいたします。

特別支援学級用教科書につきましては、学校教育法附則第9条の定めによる教科書について、特に支障があり、これより明らかに優れたものがある場合において、採択替えを行うとしております。

教科書採択資料作成会議座長の説明にもありましたとおり、中学校から新たに4点の教科書の調査・研究資料が提出されております。

それでは、ご審議をお願いしたいと思います。

各委員のご意見をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

岩田委員。

○**岩田委員** 教科書採択資料作成会議からの報告がありましたけれども、それぞれ児童や生徒の実態や学校現場の様子を踏まえて、社会で自立できる力の育成を考えて、実際に教えている現場の先生方が調査・研究をして報告書を作成していますから、この調査・研究結果に掲載されている教科書を採択して良いと思います。

○**岡田教育長** ありがとうございます。

ほかにはご意見ございますか。

内野委員、お願いします。

○**内野委員** 私も現場の先生方が児童・生徒の実態を踏まえて行った調査・研究結果に掲載されている教科書を採択して良いと考えます。

○**岡田教育長** ほかにございますか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○**岡田教育長** それでは、特別支援学級用教科書については、中学校から新たに提出された教科書と従来の教科書を一括して採択をいたします。

それでは、特別支援学級用教科書について、賛成の方、挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

○**岡田教育長** 全委員の方々が賛成という形になりました。

では、特別支援学級用教科書については、提出された資料のとおり決定をしたいと思います。よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○**岡田教育長** では、異議がございませんでしたので、以上で特別支援学級用教科書の審議を終わりにしたいと思います。

最後に、もう一度、採択しました教科書を確認いたしますので、菅野指導担当課長、確認をお願いいたします。

○**菅野指導担当課長** それでは、確認をさせていただきます。

初めに、小学校教科書につきましては、種目ごとに確認をさせていただきます。

国語ですが、国語は教育出版が 2 票、光村図書出版が 3 票で、光村図書出版が採択されました。

書写は、東京書籍が 1 票、教育出版が 1 票、光村図書出版が 3 票で、光村図書出版が採択されました。

社会は、東京書籍が 1 票、教育出版が 3 票、日本文教出版が 1 票で、教育出版が採択されました。

地図は、帝国書院が 5 票で、帝国書院が採択されました。

算数は、学校図書が 2 票、教育出版が 3 票で、教育出版が採択されました。

理科は、大日本図書が 1 票、教育出版が 3 票、新興出版社啓林館が 1 票で、教育出版が採択されました。

生活は、東京書籍が 3 票、学校図書が 1 票、教育出版が 1 票で、東京書籍が採択されました。

音楽は、教育出版が 2 票、教育芸術社が 3 票で、教育芸術社が採択されました。

図画工作は、開隆堂出版が 5 票で、開隆堂出版が採択されました。

家庭は、東京書籍が 3 票、開隆堂出版が 2 票で、東京書籍が採択されました。

体育は、東京書籍が 2 票、光文書院が 3 票で、光文書院が採択されました。

外国語は、東京書籍が 1 票、開隆堂出版が 1 票、三省堂が 1 票、光村図書出版が 2 票で、光村図書出版が採択されました。

道徳は、東京書籍が 2 票、光村図書出版が 1 票、日本文教出版が 1 票、光文書院が 1 票で、東京書籍が採択されました。

次に、小・中学校特別支援学級用教科書につきましては、調査・研究資料に上げられている図書が教科書として採択されました。

以上です。

○岡田教育長 そのほか各委員の方々から何かご意見はございますでしょうか。よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○岡田教育長 ご意見がございませんので、これをもちまして、日程第 2、第 39 号議案 令和 6 年度使用東大和市立小学校教科書採択について、日程第 3、第 40 号議案 令和 6 年度使用東大和市立小・中学校特別支援学級用教科書の採択について、以上の 2 件の議題を終了いたします。

◎閉会の辞

○岡田教育長 以上をもちまして、本日予定しておりました議事日程は全て終了いたしました。

これをもって、令和5年第3回東大和市教育委員会臨時会を閉会いたします。
大変お疲れさまでした。

午後 2時57分閉会

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

以上の会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため、ここに署名する。

東大和市教育委員会教育長

会 議 録 署 名 委 員